

# 令和6年度 保健事業における KDBシステム活用・支援状況調査 集計結果報告

国民健康保険中央会  
保健福祉部 保健事業課

I	調査概要	2
II	令和6年度 調査結果集計報告	4
1.	国保連合会票	6
	(1) KDBシステムを活用した支援の内容	
	(2) 第3期データヘルス計画に基づく保健事業の実施及び評価に向けたKDBシステムの活用	
	(3) 市町村におけるKDBシステムの活用事例	
2.	市町村国保票	14
	(1) KDBシステムの活用状況	
	(2) KDBシステム活用における課題・要望	
	(3) 個別の保健事業の実施・評価におけるKDBシステム活用	
1.	国保連合会票	21
	(1) KDBシステムを活用した支援の内容	
	(2) 第3期データヘルス計画に基づく保健事業の実施及び評価に向けたKDBシステムの活用	
	(3) 一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用推進	
	(4) 構成市町村におけるKDBシステムの活用事例	
2.	広域連合票	36
	(1) KDBシステムの活用状況	
	(2) KDBシステム活用における課題・要望	
	(3) 第3期データヘルス計画の実施・評価におけるKDBシステム活用	
	(4) 一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用状況	
3.	構成市町村票	47
	(1) KDBシステムの活用状況	
	(2) KDBシステム活用における課題・要望	
	(3) 個別の保健事業の実施・評価におけるKDBシステム活用	
	(4) 一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用状況	
III	令和6年度の調査結果まとめ	58

# I 調査概要

# KDBシステム活用・支援状況調査について

## ◆調査の背景・目的

後期高齢者医療（以下「後期」という）制度において、令和2年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が全国で展開されたことに伴い、国民健康保険中央会（以下「国保中央会」という）では、データ活用の中核となる国保データベース(KDB)システム（以下「KDBシステム」という）の活用促進に向けて、高齢者保健事業についてのKDBシステムの活用状況調査を開始した。KDBシステムは、高齢者の保健事業に限らず、国民健康保険（以下「国保」という）のデータヘルス計画や各種保健事業の実施においても重要な役割を果たすものであるため、今回、対象範囲を国保にも拡大することとした。

本調査は、KDBシステムの活用支援を行う基礎として、同システムの活用状況及び支援状況を把握することにより、効果的な保健事業の展開と今後の保険者支援の更なる向上につなげることを目的とする。

## ◆調査概要

国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という）、後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という）、支援・評価委員会を活用した市町村（以下、国保の市町村は「市町村国保」、後期の市町村は「構成市町村」という）を対象に以下の調査を実施。

調査対象	回収時期	調査内容
国保連合会	令和7年1月23日 ～	KDBシステム活用支援の内容、第3期データヘルス計画に基づく保健事業の実施及び評価に向けたKDBシステムの活用支援、一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用促進（ツールの設問は後期のみ）、市町村におけるKDBシステムの活用事例
広域連合	令和7年3月31日	KDBシステムの活用状況、第3期データヘルス計画の実施・評価におけるKDBシステム活用状況、一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用状況
市町村国保	※回答日時点での現状について調査	KDBシステムの活用状況、KDBシステム活用における課題・要望、個別の保健事業の実施・評価におけるKDBシステム活用状況、一体的実施・KDB活用支援ツール等の活用状況（ツールの設問は後期のみ）
構成市町村		

## ◆回収状況

調査対象	調査対象数	回収数	回収率（%）
国保連合会	47	47	100.0
広域連合	47	46	97.9

調査対象	調査対象数	回収数	回収率（%）
市町村国保	995	917	92.2
構成市町村	459	408	88.9

## Ⅱ 令和6年度調査結果集計報告

## 国 保

### 1. 国保連合会票

(P.6)

---

### 2. 市町村国保票

(P.14)

---

○国保連合会が市町村国保にKDBシステムの活用支援を行った内容は、「個別支援（国保連合会の支援）」が最も多かった。

○その他の内容も含め、47国保連合会の全てで、活用支援を行っていた。

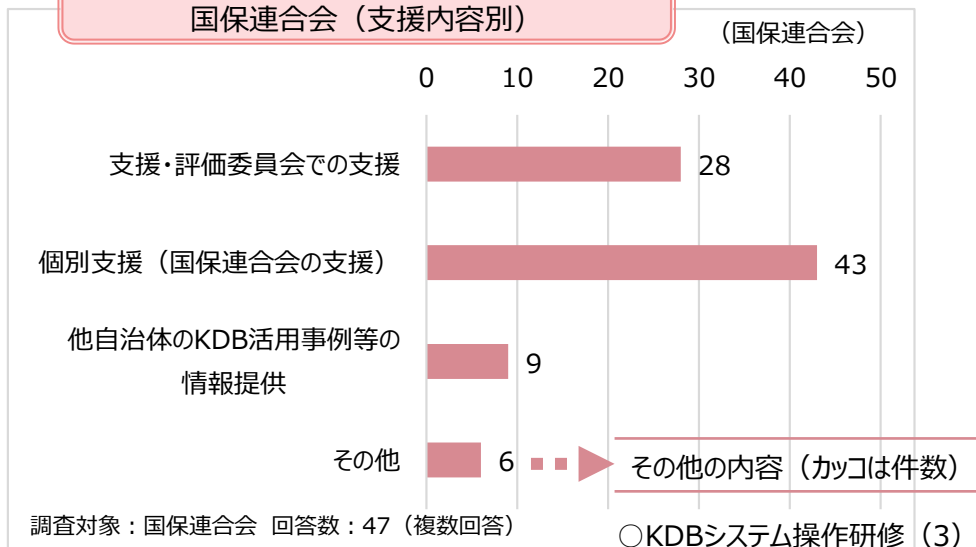
○市町村国保にデータ提供している内容は、「健康課題・実態把握に関する分析データ」が最も多かった。

○データ提供の費用有無については、全体的に費用負担なしでの提供が多かった。

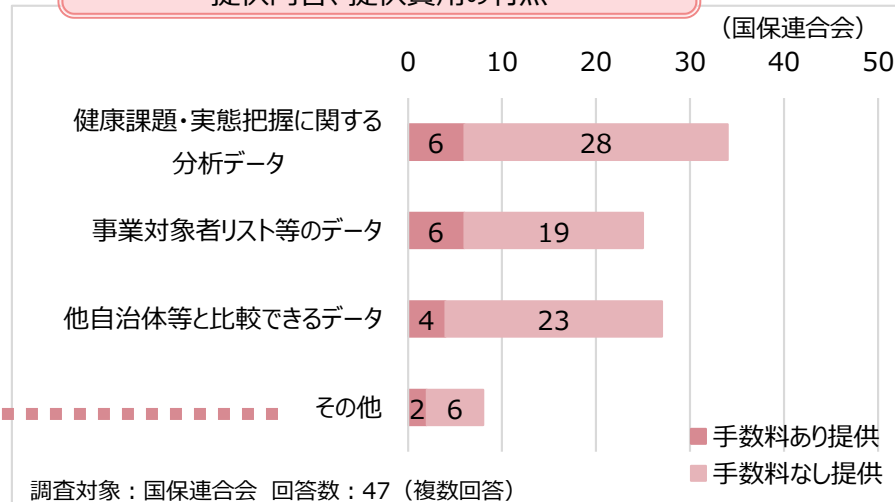
#### その他の主な内容

- 依頼に基づき、随時データ提供
- 依頼のある保険者に、突合CSV、被保険者台帳を提供
- 事業結果の集計

市町村国保にKDBシステムの活用支援を行った  
国保連合会（支援内容別）

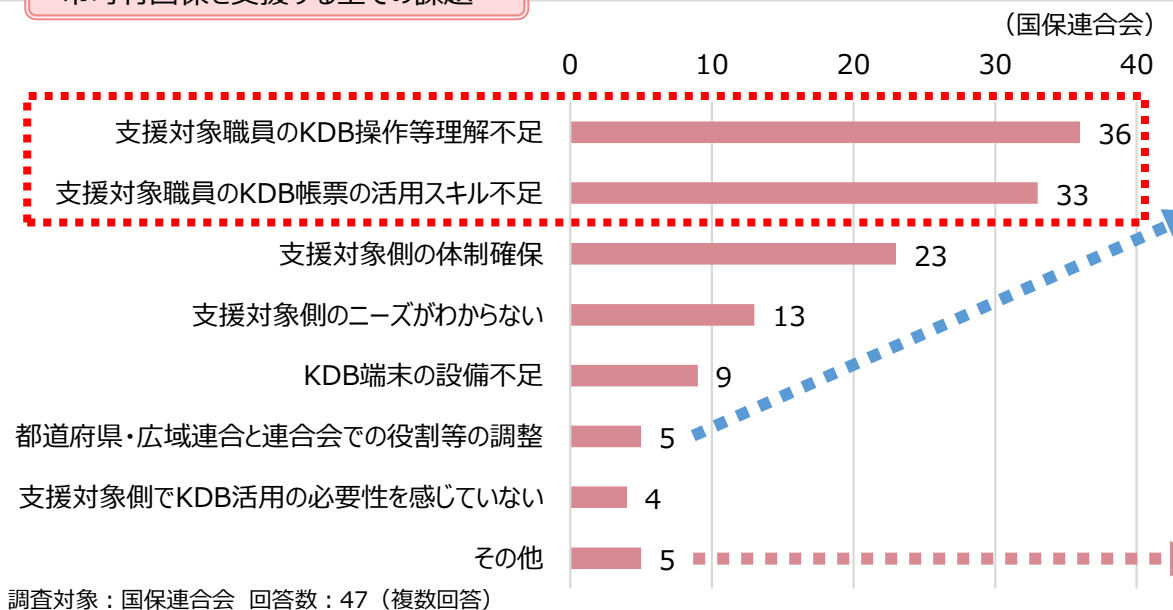


市町村国保にデータ提供している国保連合会と  
提供内容、提供費用の有無



- 市町村国保を支援する上での課題では、「支援対象職員のKDBシステム操作等理解不足」、「支援対象職員のKDBシステム帳票の活用スキル不足」の順で多く、市町村国保のKDBシステムの操作及び活用スキルが不足している点を課題としている国保連合会が多かった。

市町村国保を支援する上での課題※



## 調整にあたって課題と思う主な内容

- 県等の協力体制ができていないこと
- 県との連携が十分ではなく、同様の事業をそれぞれ実施することもある
- 役割の棲み分けができていない。都道府県の統率が不十分

## その他の内容

- 支援対象職員のスキルに合わせた研修会実施と質の担保、支援する側の体制確保
- 集計要件がわかりにくいことが、KDBシステムの利活用をすすめる点で障害になっている。今のKDBシステムを使いやすくなることが課題
- KDBシステムだけでは支援が完結しないこと
- KDBシステムは分析には活用できるが、汎用抽出機能がないため、事業実施等において活用が困難な場合がある
- 国保連合会内に実機を用いた研修ができる環境がない



- 市町村国保からのKDBシステム活用に関する相談・要望の中で多かったのは、「KDBシステムの仕様説明・操作方法」に関する内容であった。具体的には、対象者の抽出方法や情報の取得方法等に関する相談が多く寄せられていた。また、支援ツールの開発や研修会の開催への要望も見られた。

市町村国保からのKDBシステム活用に関する  
相談・要望の内容

大分類	中分類
KDBの仕様説明・操作方法 (23)	○対象者の抽出方法 (6)
	○欲しい情報がどの帳票から取れるのか (5)
	○重複受診、重複投薬・多剤処方に関する内容 (4)
	○介入支援対象者一覧画面について (3)
	○経年比較がほしい (2)
ツール関連 (5)	○一体的実施・KDB活用支援ツール、実践支援ツールのようなツールを作成してほしい (3)
	○KDBとツールの関連と活用方法
	○ツール等の活用事例
研修会の開催 (3)	○実機を用いた研修 (2)
	○オンデマンド形式での研修

○**KDBシステムを活用した市町村国保支援における工夫**が多かったのは、「保険者訪問による実機での操作支援」であった。その工夫によって得られた効果として、訪問や研修会等で直接対話を行うことで、保険者のニーズを把握し、より効率的な提案が可能となった。また、保険者との関係構築にも寄与したといった意見もあった。

KDBシステムを活用した市町村国保支援において  
工夫している点・得られた効果

### 工夫している点

件数

○保険者訪問による実機での操作支援



16

○研修会の開催



11

○データの提供



6

○マニュアル・事例集等作成



4

得られた効果

### 得られた効果（主な意見）

- 保険者のシステムの活用状況が把握でき、より効率的な活用の提案ができた。保健事業について情報収集の機会になった。
- 訪問先のニーズの把握・対応ができた。
- 保険者より不安や疑問を解消できたと言われた。
- 参加者の理解度が深まり、担当者と顔合わせて話をするのができ、関係作りができた。
- 研修後アンケートより理解度、満足度、業務への有益度で高評価を得られた。

○KDBシステムの活用や分析にあたり、国保中央会へ希望する支援については、「研修会の開催」、「KDBの改修」、「活用事例の共有」等の意見が多く見られた。

KDBシステム活用や分析にあたり、国保中央会へ希望する支援

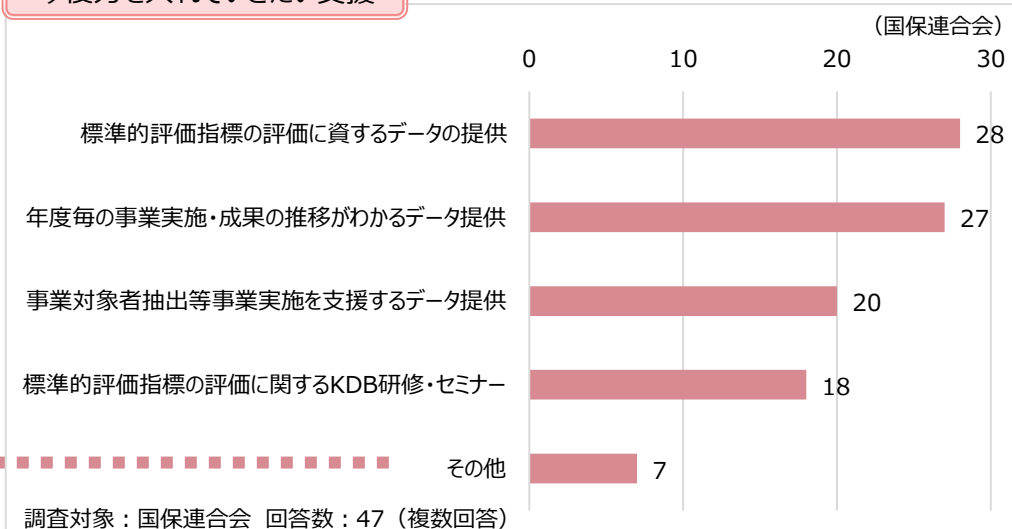
分類	主な意見
研修会の開催（8）	○KDBシステムの仕様・操作方法をレベル別で習得できるような研修（2）
	○データ分析に関する研修（2）
	○「この個別保健事業の結果はこの帳票を活用できる」ような研修
KDBの改修・アップデート（7）	○特定のテーマに沿った分析結果を標準機能として提供できるよう改修してほしい
	○同じ項目であっても、画面によって異なる数字を統一してほしい
	○Excelのフィルター機能のような絞込みや並び替えができるようにしてほしい
活用事例の共有（7）	○研修会や調査等でKDBの活用事例が共有されているが、1つに取り纏めたものがほしい
	○第3期データヘルス計画を評価する際の、データの見方や、データが何を表しているのかなど解釈についての事例を横展開してほしい
マニュアルの作成（5）	○保険者向けのKDB操作・活用に関する動画の作成提供
	○FBR作成ツールについて、それぞれの特徴や具体的な使用手順がわかる研修や資料の作成をしてほしい
データ・情報の提供（4）	○国保から後期へ移行した方の経年比較ができる帳票（データ）
	○腎機能予測結果データについて、説明根拠を簡潔に示すこと、その内容について国保中央会と日本医師会や日本腎臓学会等で調整・合意を得た内容などを公表してほしい
ツール関連（3）	○一体的実施においては様々なツールが出ているが、国保保険者にも活用しやすいツール
	○年度が異なるデータ（介入支援対象者一覧）を取り込むことで年度比較ができるようなツール

○KDBシステムを活用して今後力を入れていきたい支援では、「標準的評価指標の評価に資するデータの提供」が最も多かった。

#### その他の主な内容

- 独自システム活用による支援を予定
- 保健事業実施のためのKDB活用支援に関するセミナー
- 保険者の事業実施に必要な機能等の案内・活用方法
- 中間評価のための検定ツール作成

#### 今後力を入れていきたい支援



#### 第3期データヘルス計画に基づく保健事業の実施・評価に向けて、KDBシステムを活用した支援の課題

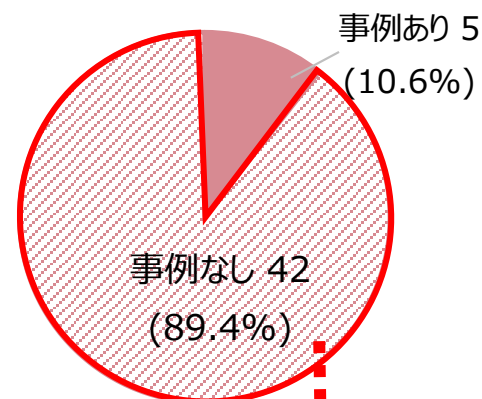
○第3期データヘルス計画の保健事業の実施・評価に向けてのKDBシステム活用支援の課題については、「KDBの仕様・運用面の問題」に関する意見が最も多かった。

分類	主な意見
KDBの仕様・運用面の問題（6）	<p>○事業評価について、介入支援管理機能を活用した支援を行っているが、操作工程が多いため、評価方法として浸透していない</p> <p>○対象者の抽出や他自治体と比較できるデータセットの提供をするには、KDBシステムでは抽出できない項目や、各保険者で指標の条件が異なることもあるので難しい</p>
担当者変更に伴うノウハウの蓄積（4）	<p>○計画策定時と評価時で担当者が変わるため、引継ぎや積み重ねが出来ていない（3）</p>
市町村国保担当者の活用スキル（4）	<p>○保険者がKDBシステムをどの程度使用しているか、必要としているか正確に把握できない</p> <p>○保険者によって活用状況に差があるため、現場での個別支援を充実させたい</p>
共通評価指標（3）	<p>○県内共通評価指標や共通様式について、県内統一を図っているが、データヘルス計画に使用していない市町村もあり、標準化が難しい</p>
中間評価（2）	<p>○中間評価に向けて、どのような支援ができるか（2）</p>

## KDBシステム活用事例提出状況

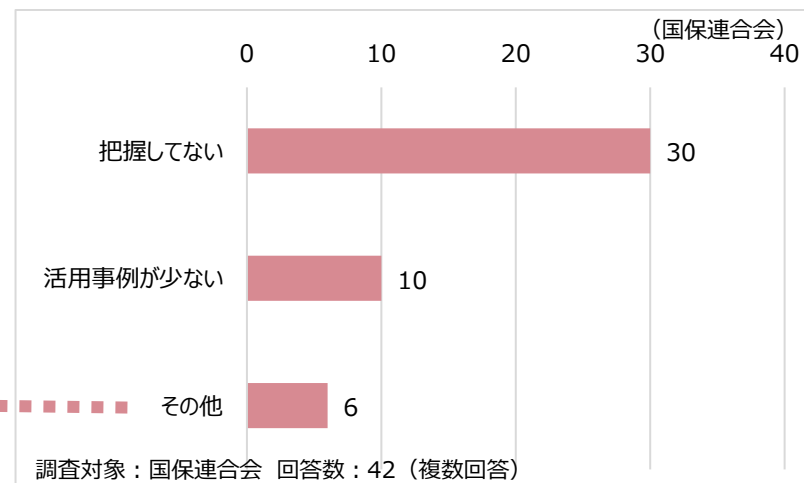
調査対象：国保連合会 回答数：47

- 市町村におけるKDBシステムを効果的に活用している活用事例について、5連合会から事例提供があった。提出事例なしとする国保連合会が42あった。



- 紹介事例がない理由は、「把握していない」という回答が多かった。

## 事例がない理由



## その他の主な内容

- 令和7年度にKDB活用についての調査を行う予定
- 調査を実施していない
- 独自システム等を含めた活用をしているため
- 他県と健康課題が異なるため提出を控える
- 基本的な活用方法のため

具体的な活用事例（一部抜粋）

協会けんぽと共同して進める  
健康づくりモデル事業

抱えていた課題

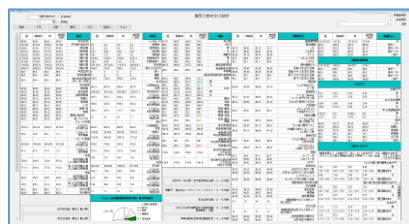
- 事業内容・費用負担等の整理

取組の内容

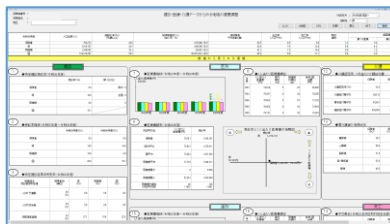
KDBシステムを使い、健診・医療・介護のデータの分析により健康課題を把握した。

活用したKDB帳票

- 地域の全体像の把握



- 健診・医療・介護データからみた地域の健康課題の把握



活用した場面

- 地域の健康課題把握

市町村が得た効果・解決できた課題

健診・医療・介護のデータの分析により健康課題を把握し、国保・協会けんぽで課題等の共有を行ったことで、取組内容・体制等の検討につながられた。

糖尿病性腎症重症化予防対策  
受診勧奨等事業

抱えていた課題

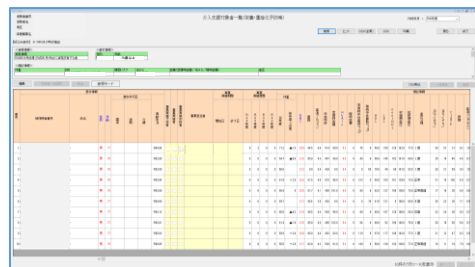
- 目標・評価指標の設定
- 保健指導後のフォローアップ
- 事業実施後の評価・改善策の立案

取組の内容

介入者情報をKDB機能を活用し評価、今後の対策に向け情報を活用

活用したKDB帳票

- 介入支援対象者一覧



活用した場面

- 事業の企画
- 事業対象者把握
- 事業実施
- 事業評価

市町村が得た効果・解決できた課題

実施後の評価、改善策の立案

○KDBシステムを活用している市町村国保は、896（97.7%）あった。

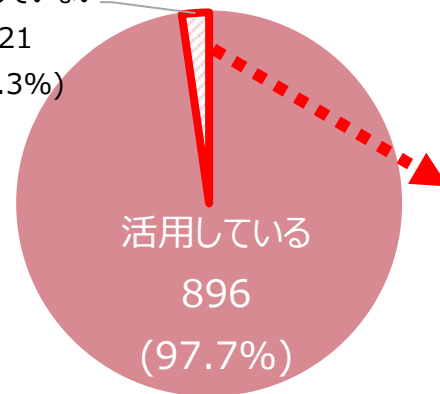
○活用していない理由を内容別に分類したところ、「外部委託をしている」、「独自のシステム等を活用している」という理由が多かった。

○KDBシステム以外によるデータ分析方法は、「市町村国保内で独自データを収集し分析」が最も多く、KDBシステムと独自データを共に活用している市町村国保が多かった。

その他の内容（全国的に多かった回答）	件数
○ヘルスサポートラボツール	45
○保険者データヘルス支援システム	20
○マルチマーカ	15
○特定健診データ管理システム	7
○DHパイロット	4

KDBシステムを活用している市町村国保

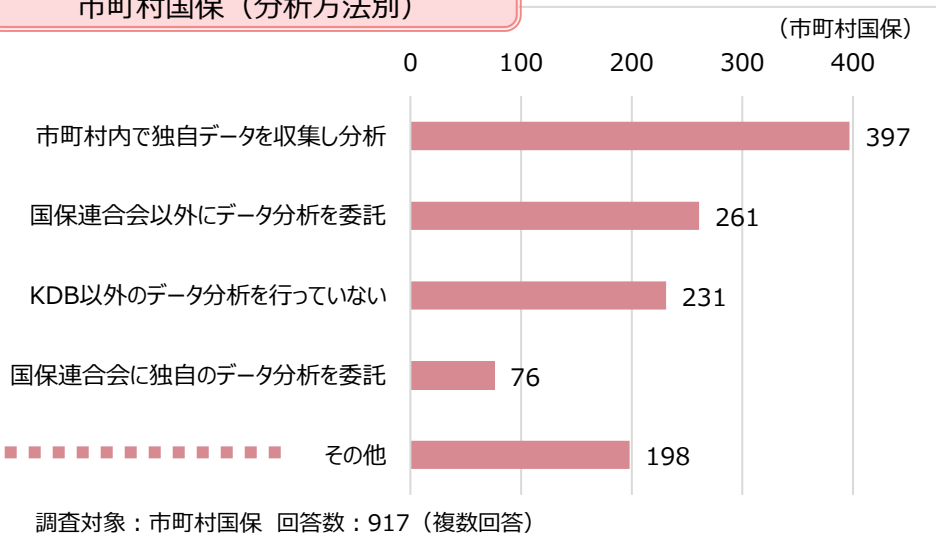
活用していない  
21  
(2.3%)



調査対象：市町村国保 回答数：917

活用していない理由	件数
○外部委託している	9
○独自のシステム等を活用	7
○KDBの機能を理解できていない	2
○使用する機会がない	2
○人材不足	1

KDBシステム以外にデータ分析をしている市町村国保（分析方法別）

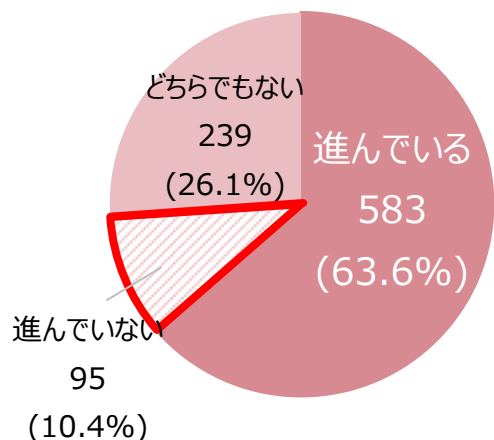




- 直近1年間のKDBシステム活用の進捗については、「活用が進んでいる」と回答した市町村国保は、583（63.6%）あった。
- 「活用が進んでいない」と回答した市町村国保に対して、**活用が進んでいないと考える点**について聞いたところ、約半数の市町村国保が、「KDBシステムの知識が不足している、活用方法がわからない」との意見を示した。その対策として、研修に参加する意向を示す意見が多く見られた。

## 直近1年間のKDBシステム活用の進捗

調査対象：市町村国保 回答数：917



## 活用が進んでいないと考える点

## 件数

○KDBの知識不足・活用方法がわからない	45
○KDBの仕様・使いづらい部分がある	21
○人材不足	12
○同じ機能しか使っていない・活用部分が決まっている	8
○活用する機会がない	6
○活用する時間が取れない	5
○KDB端末設置の問題	4

必要と考える対策

## 対策

## 件数

○研修会の参加（開催要望あり）	21
○マニュアルの読込み（作成要望あり）	11
○活用例の共有	11
○使用する機会を増やす	11
○人材確保	9
○KDBの改修・アップデート	7
○活用するスキルの習得	6



○前頁の**直近1年間のKDBシステム活用の進捗**について、「**どちらでもない**」と回答した理由について聞いたところ、「例年と同様の活用をしているため」が最も多かった。

「どちらでもない」と回答した理由	件数
○例年と同様の活用をしているため	90
○使いこなせていない、最小限の活用しかできていない	50
○別のシステムを活用している	15
○人材不足	12
○分析業務は外部委託している	8
○KDBの仕様・使いづらい部分がある	7
○KDBの知識不足・活用方法がわからない	6
○活用する時間が取れない	6

○個別保健事業におけるKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望について、最も多かった意見は、「研修会の開催」であった。

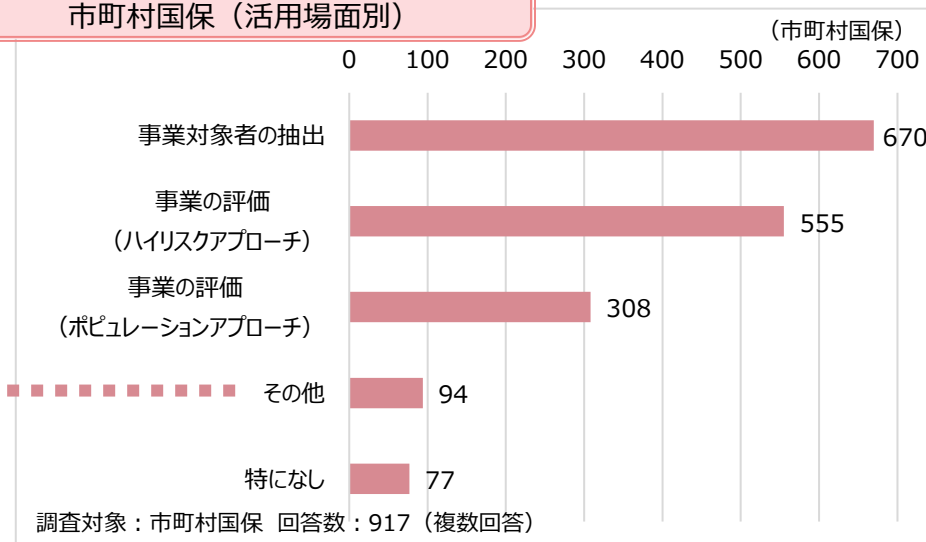
個別保健事業におけるKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望

大分類	中分類	主な意見（要約）
研修会の開催（43）	KDB活用方法の研修（23）	○KDB活用の事例や具体的な活用方法 ○KDBの機能や操作説明 ○帳票の見方、効果的利用方法
	データ分析研修（10）	○データ抽出・分析方法や分析技術の研修
	レベル別研修（8）	○初任者等レベル分けした研修 ○年度初めに新規担当者向けの操作説明会
	定期的・継続的な実施（8）	○KDBの操作研修の定期的な実施
データ抽出・分析支援（42）	分析支援（24）	○分析事例 ○効果的な分析方法 ○帳票の読み解き方法
	データ抽出支援（18）	○対象者・治療中断者の抽出 ○データ抽出例 ○抽出データ提供の要望
	評価・効果測定の支援（14）	○評価指標に基づいたデータ分析 ○評価のためのデータ抽出
KDBの改修・アップデート（38）	機能拡充要望（33）	○1歳刻みの対象者抽出 ○治療中断者の抽出条件の変更 ○後発医薬品の使用状況分析
	画面表示等の改善（5）	○画面遷移の明確化 ○数値誤差の解消
相談環境・継続的な支援（32）		○チャット等ですぐに回答が得られる ○対面での支援 ○ヘルプデスクのような体制
活用事例の共有・情報共有（24）		○他自治体の活用事例 ○帳票の分析事例 ○評価事例
便利ツールの提供（12）		○活用支援ツールの国保版 ○分析ツール ○加工帳票等が作成できるツール
マニュアルの提供（11）		○Q&A方式 ○チャットボット ○データ分析内容に応じた活用マニュアル

- 個別保健事業でKDBシステムを活用している場面は、「保健事業対象者の抽出」が最も多かった。

その他で多かった内容	件数
○受診状況（レセプト情報）の確認	32
○地域分析・健康課題の分析	16
○外付けシステムや2次加工ツール等の使用時に活用	14
○医療費の集計・分析	11

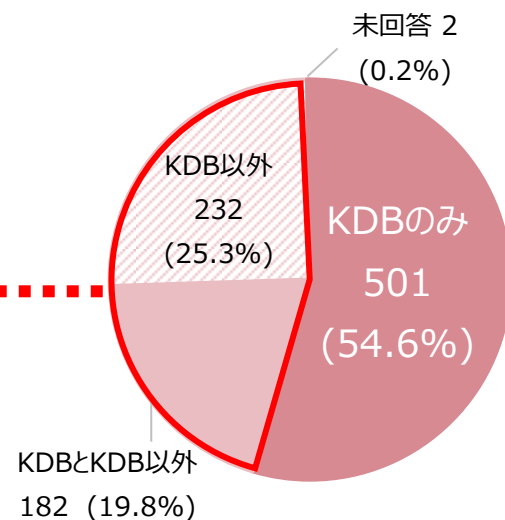
個別保健事業でKDBシステムを活用している市町村国保（活用場面別）



- 個別保健事業の評価において、「KDBシステムのみ」を活用している市町村国保は、501（54.6%）あった。

個別保健事業の評価におけるKDBシステムの活用状況

調査対象：市町村国保 回答数：917



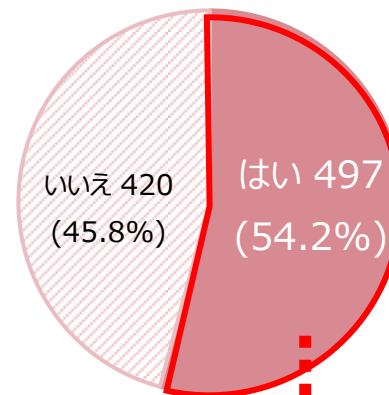
具体的なデータ・方法

KDBシステム以外のデータ	件数	KDBシステム以外の方法	件数
○健診データ	111	○外部委託	70
○レセプト・医療データ	86	○ヘルスサポートラボツール	60
○アンケート、聞き取り	39	○市町村独自のツールやシステム	39
○法定報告値	21	○県や国保連合会提供のツールやシステム	30
		○Excelを活用	28

個別保健事業での評価における  
国保連合会の支援を受けた市町村国保

調査対象：市町村国保 回答数：917

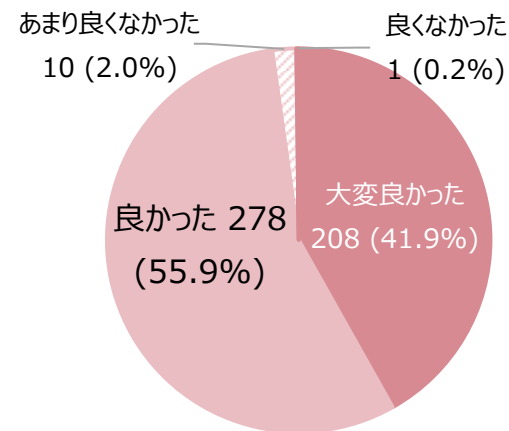
○個別保健事業での評価におけるKDBシステムの活用にあたって、国保連合会の支援を受けた市町村国保は、497で半数以上で支援を受けていた。



個別保健事業での評価における  
国保連合会支援の評価

調査対象：市町村国保 回答数：497

○支援についての評価は、「大変良かった」、「良かった」との回答を合わせると、486市町村（97.8%）であった。



○大変良かった・良かった理由 件数

○求めている支援を受けることができた 68

○対応が良かった  
(わかりやすい説明、丁寧、迅速) 54

○理解できた・参考になった 52

○あまり良くなかった・良くなかった理由 件数

○具体的に助言が欲しかった 2

○説明が少なかった 1

○わからないことに助言が得られなかった 1

○助言が活用できない内容であった 1

## 後 期

### 1. 国保連合会票 (P.21)

---

### 2. 広域連合票 (P.36)

---

### 3. 構成市町村票 (P.47)

---

#### 【グラフの配色について】

緑色

広域連合に関する回答

薄緑色

構成市町村に関する回答

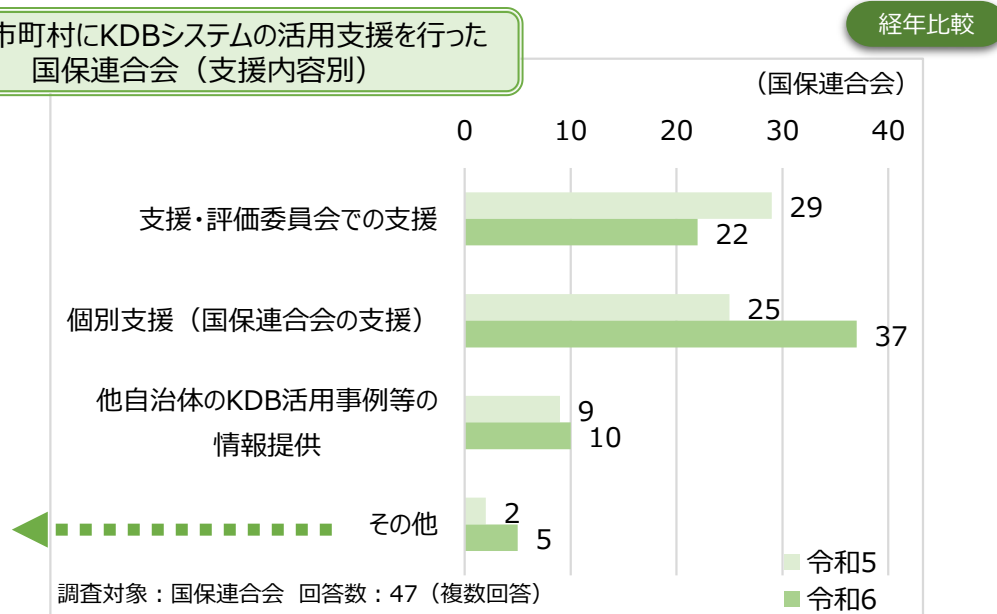
○国保連合会が構成市町村にKDBシステムの活用支援を行った内容は、「個別支援（国保連合会の支援）」が最も多かった。

○令和5年度と比較すると、支援・評価委員会の支援が減少し、個別支援（国保連合会支援）が増加していた。

その他の主な内容※

○KDBシステム操作研修（3）

構成市町村にKDBシステムの活用支援を行った  
国保連合会（支援内容別）



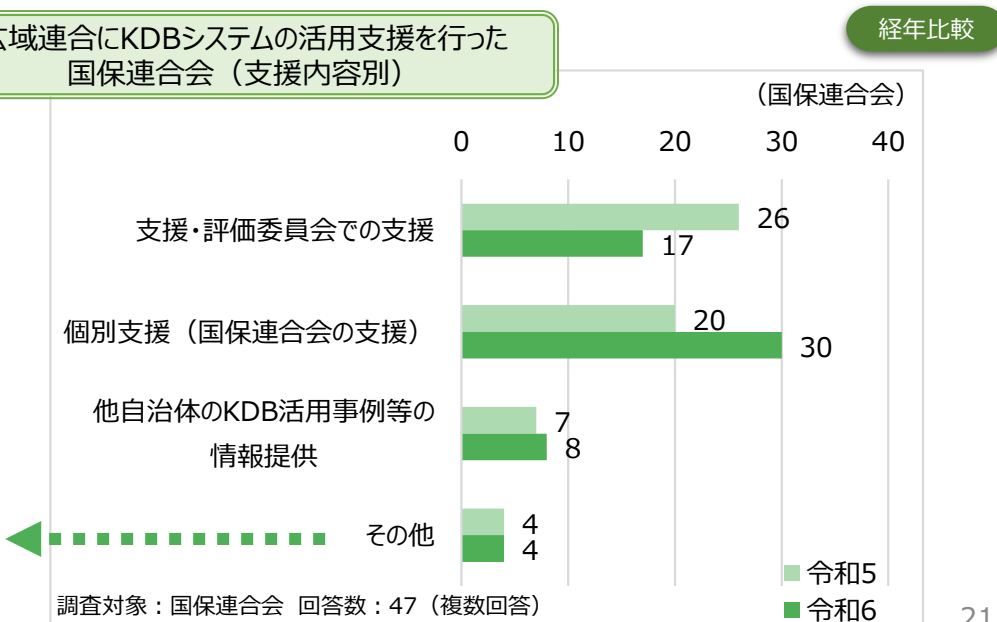
○国保連合会が広域連合にKDBシステムの活用支援を行った内容は、「個別支援（国保連合会の支援）」が最も多かった。

○広域連合に対する支援が構成市町村よりも少ない傾向は、令和5年度から変わっていない。

その他の主な内容

○KDBシステム操作研修（3）

広域連合にKDBシステムの活用支援を行った  
国保連合会（支援内容別）



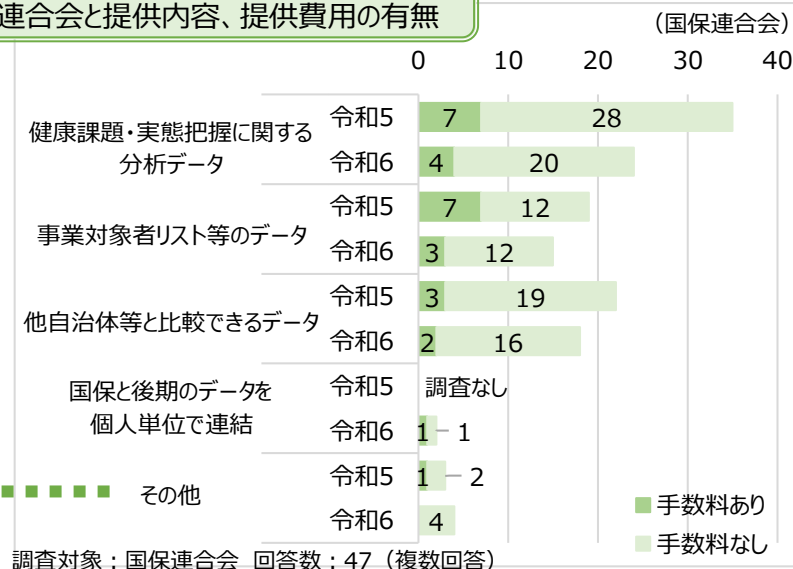
○構成市町村にデータ提供している内容は、「健康課題・実態把握に関する分析データ」が最も多かった。

○令和5年度と比較すると、全体的にデータの提供は減少傾向であった。

#### その他の主な内容

- 糖尿病性腎症重症化予防事業対象者選定のための情報
- 依頼に基づき、随時データ提供

#### 構成市町村にデータ提供している 国保連合会と提供内容、提供費用の有無



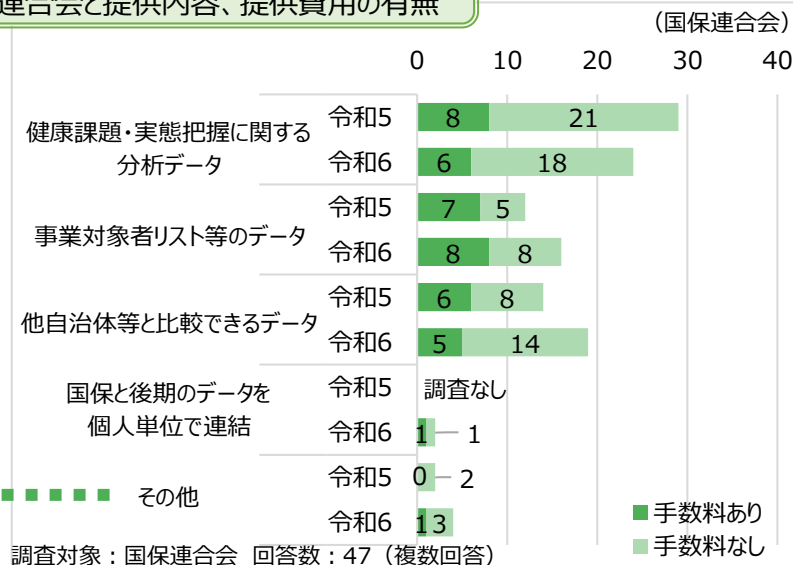
○広域連合にデータ提供している内容は、「健康課題・実態把握に関する分析データ」が最も多かった。

○データ提供の費用有無については、構成市町村より広域連合に対して、手数料を負担してもらいデータ提供している内容が多かった。

#### その他の主な内容

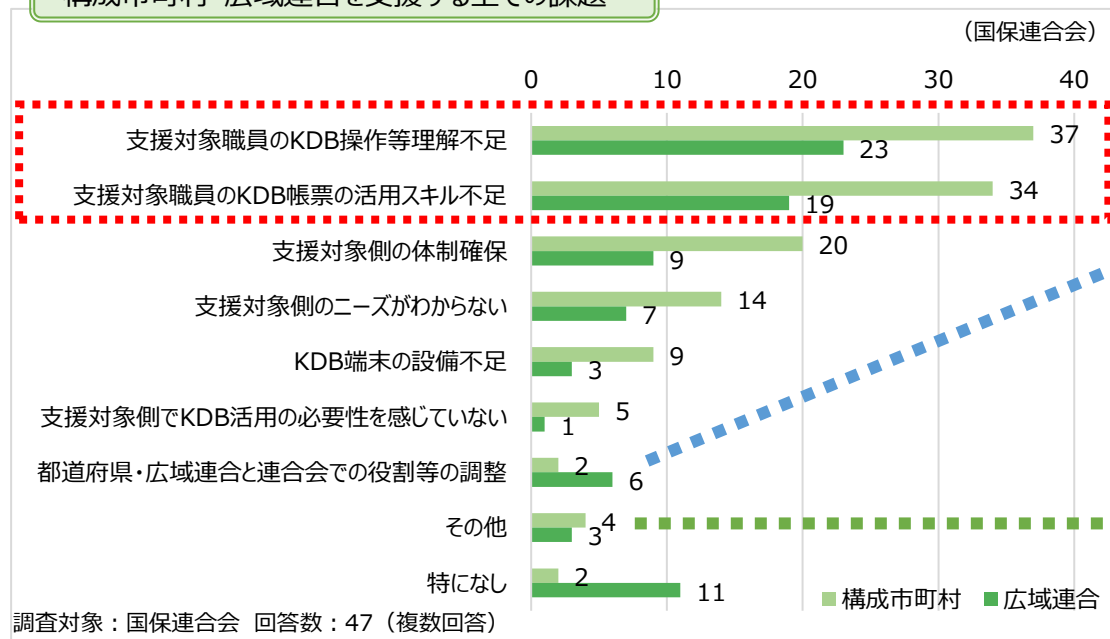
- 依頼に基づき、随時データ提供

#### 広域連合にデータ提供している 国保連合会と提供内容、提供費用の有無



- 構成市町村・広域連合を支援する上での課題**では、構成市町村・広域連合共通して、「支援対象職員のKDBシステム操作等理解不足」、「支援対象職員のKDBシステム帳票の活用スキル不足」の順で多く、特に構成市町村のKDBシステムの操作及び活用スキルが不足している点を課題としている国保連合会が多かった。

構成市町村・広域連合を支援する上での課題※



## 調整にあたって課題と思う主な内容

- 県等の協力体制ができていないこと（構成市町村・広域連合共通）
- 一体的実施を推進するにあたって県や広域連合の主体性が低い（構成市町村・広域連合共通）
- 広域連合と動きを共有する方法が個人の動きになっており、組織的・業務スケジュールに組み込まれていない（広域連合のみ）
- 高齢者セミナープログラム内容（KDBシステム操作説明）等の調整（広域連合のみ）
- 構成市町村支援に対し、広域連合と国保連合会の役割の認識の違いに課題を感じる（広域連合のみ）

## その他の主な内容

- 支援対象職員のスキルに合わせた研修会実施と質の担保、支援する側の体制確保（構成市町村・広域連合共通）
- 国保連合会内に実機を用いた研修ができる環境がない（構成市町村・広域連合共通）
- 後期高齢者のインセンティブの獲得（構成市町村・広域連合共通）
- KDBシステムは分析には活用できるが、汎用抽出機能がないため、事業実施等において活用が困難な場合がある（構成市町村のみ）



- 構成市町村・広域連合からのKDBシステム活用に関する相談・要望の中で多かったのは、「KDBシステムの仕様説明・操作方法」に関するものであった。構成市町村では、ツール関連の相談・要望も多く見られた。

構成市町村からのKDBシステム活用に関する  
相談・要望の内容

大分類	中分類
KDBの仕様説明・操作方法 (13)	○対象者の抽出方法 (3)
	○健康課題の把握方法 (3)
	○評価方法 (3)
	○帳票のどれを使えばよいかわからない
	○データの数値の意味がわからない
ツール関連 (10)	○一体的実施・KDB活用支援ツール、実践支援ツールの使用方法・活用方法 (2)
	○対象者の抽出条件について (2)
	○ツールに関する研修の要望

広域連合からのKDBシステム活用に関する  
相談・要望の内容

大分類	中分類
KDBの仕様説明・操作方法 (9)	○対象者の抽出方法 (2)
	○データ抽出の要望 (2)
	○通いの場の質問票の回答結果を反映した帳票の拡大 (2)
ツール関連 (5)	○一体的実施・KDB活用支援ツール、実践支援ツールの使用方法・活用方法 (3)
構成市町村支援 (3)	○KDBデータの読み解きにかかる市町村支援
	○広域連合主催の研修会でのKDBに関する説明

- KDBシステムを活用した構成市町村・広域連合支援**においての工夫で多かったのは、共通して「訪問による実機での操作支援」と「研修会の開催」であった。広域連合支援では、情報共有も工夫点としてあげられていた。

KDBシステムを活用した構成市町村支援において  
工夫している点・得られた効果

工夫している点	件数
○構成市町村訪問による実機での操作支援	11
○研修会の開催	10
○データの提供	3
○マニュアル・事例集等作成	3

KDBシステムを活用した広域連合支援において  
工夫している点・得られた効果

工夫している点	件数
○広域連合訪問による実機での操作支援	7
○研修会の開催	5
○情報共有	4

得られた効果

#### 得られた効果（主な意見）

- 活用方法・操作方法の説明を行い、構成市町村からも活用のイメージがしやすかったという声が聞かれた。
- データ提供により、アプローチすべき対象者について優先順位をつけた介入支援に繋がっている。
- 提供した資料は実績報告などに活用できるというニーズがあることが分かった。

#### 得られた効果（主な意見）

- 実機を用いた操作説明会を複数の日程で開催し、サポートに入る職員を毎回配置することで、より理解度を上げることができた。
- 研修会での説明内容は、広域連合のニーズに合わせて決めており、構成市町村がKDBシステムを活用するきっかけになっている。

○**KDBシステムを活用や分析にあたり、国保中央会へ希望する支援**については、ツールに関する内容が最も多かった。

KDBシステムを活用や分析にあたり、国保中央会へ希望する支援

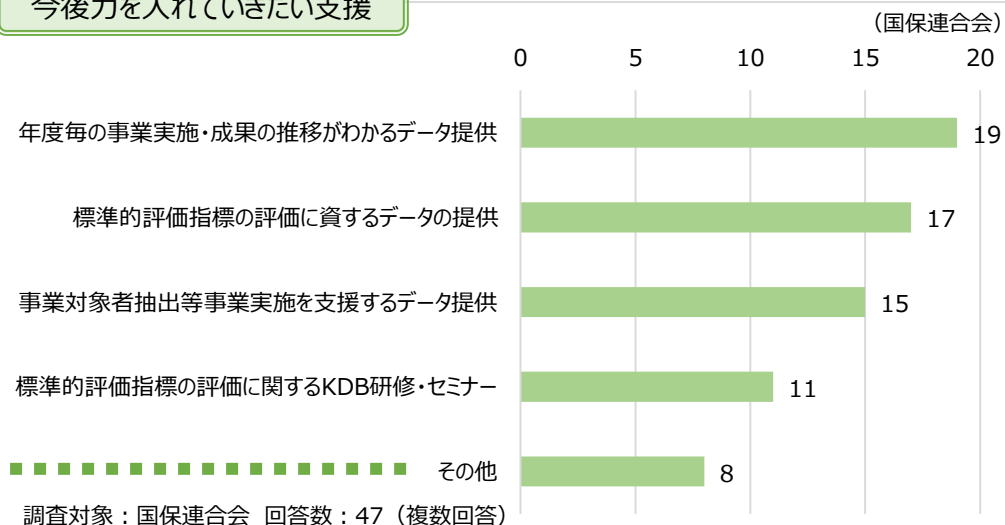
分類	主な意見
ツール関連（11）	○一体的実施・実践支援ツールについて、絞込みの方法、事業の流れに沿った具体的な活用例を提示してほしい（3）
	○一体的実施・KDB活用支援ツールの抽出要件等が分かる資料（構成市町村等への配布用）を作成いただきたい
	○一体的実施・KDB活用支援ツールの糖尿病の治療中断者の抽出について、「糖尿病の治療歴がない者」も抽出されたため、対応策について検討していただきたい
活用事例の共有（9）	○KDBデータの二次加工や評価にかかる活用事例等、他県における有効な取組を共有してほしい
	○国保から後期へ移行した人について、抽出方法など良い取組があれば、横展開してほしい
	○構成市町村による先進的な活用事例を紹介してほしい
マニュアルの作成（4）	○構成市町村向けの操作マニュアルを作成してほしい
	○KDBシステムやツールで抽出できる類似条件の違いを構成市町村向けに説明したマニュアル等の整備してほしい
研修会の開催（3）	○KDBの機能改修や新しいツール等が作成された場合、国保連合会向けに操作及び活用研修を実施してほしい
KDBの改修・アップデート（2）	○活用支援ツール等、外付けシステムを新たに作成するのではなく、既存システム内での改修で対応してほしい

○KDBシステムを活用して今後力を入れていきたい支援では、「年度毎の保健事業の実施状況・成果の推移がわかるデータの提供」が最も多かった。

#### その他の内容

- 通いの場データの活用等、評価にかかる支援方法の確立
- 広域連合が独自で第三者支援が受けられる体制が出来ているため、支援する内容について広域連合と支援する内容について協議予定

#### 今後力を入れていきたい支援



#### 第3期データヘルス計画に基づく保健事業の実施・評価に向けて、KDBシステムを活用した支援の課題

○第3期データヘルス計画の保健事業の実施・評価に向けてのKDBシステム活用支援の課題については、「構成市町村の活用スキル」に関する意見が最も多かった。

分類	主な意見
構成市町村の活用スキル（5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者によってシステムの活用状況に差があるため、現場での個別支援を充実させる</li> <li>○事業のストラクチャー、プロセス評価が出来ていないところがあり、事業の改善につなげていかない</li> </ul>
KDBの仕様・運用面の問題（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共通評価指標に係るデータについては、データが散在しているため、KDBシステムで、全国、県内市町比較が一律にできるようにしてほしい</li> <li>○標準的評価指標の集計の簡素化（算出元が決まっている項目は1機能ですべて集計されることで効率化される）</li> </ul>
ツール関連（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一体的実施・KDB活用支援ツール、一体的実施・実践支援ツールにおいて、各システムからKDBに連携されてくる関係で、抽出・閲覧にタイムラグがあるため、保険者において活用しにくい</li> <li>○一体的実施・実践支援ツールについて、実地支援や意見交換会にて説明を行ったが、その後の活用状況を把握できていない</li> </ul>
評価関連（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護情報のKDBシステム未連携の市町村があり、介護情報を活用した評価指標が抽出できない</li> </ul>

○構成市町村に対し、一体的実施・KDB活用支援ツール（以下「活用支援ツール」という）に関する支援をしている国保連合会は、46連合会（97.9%）であった。

○令和5年度から1連合会增加した。

○活用支援ツールに関する支援の内容は「活用支援ツールを提供している」が最も多く、次いで「内容について説明している」であった。

○支援している国保連合会のうち、活用支援ツール未提供があった連合会は1連合会で38市町村へ未提供があった。理由は、「KDB外付けシステムで代用可能なため」であった。

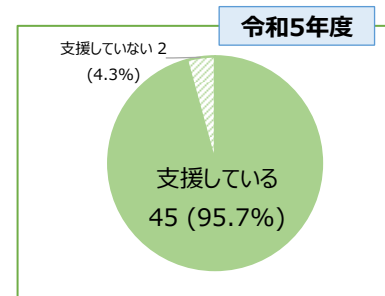
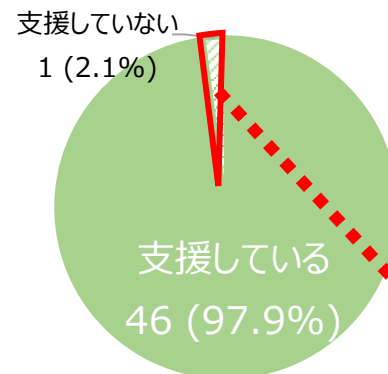
○「データを提供している」と回答があったデータの詳細は、2回答ともに、「国保連合会にて加工し提供している」であった。

○令和5年度とほぼ同傾向であった。

構成市町村に対し、活用支援ツールに関する支援をしている国保連合会

経年比較

調査対象：国保連合会 回答数：47

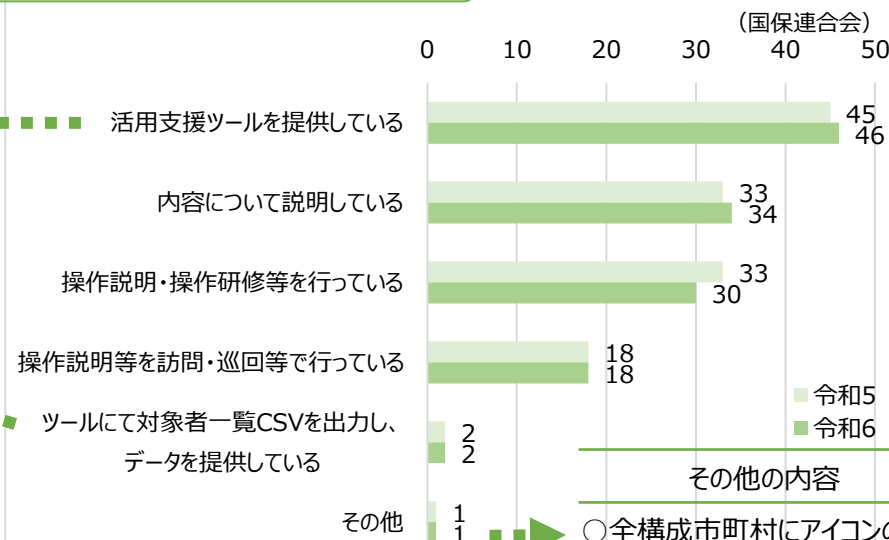


支援をしていない理由

○配布しているが、広域連合が中心となって支援を行っているため

活用支援ツールに関する支援の内容

経年比較



調査対象：国保連合会 回答数：令和5 45、令和6 46（複数回答）

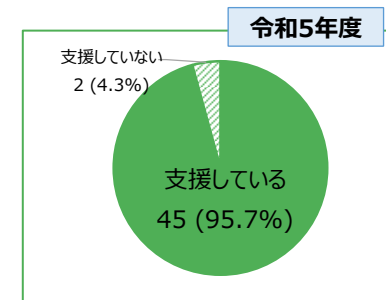
○全構成市町村にアイコンの作成ができているかの確認

広域連合に対し、活用支援ツールに関する支援をしている国保連合会

経年比較

調査対象：国保連合会 回答数：47

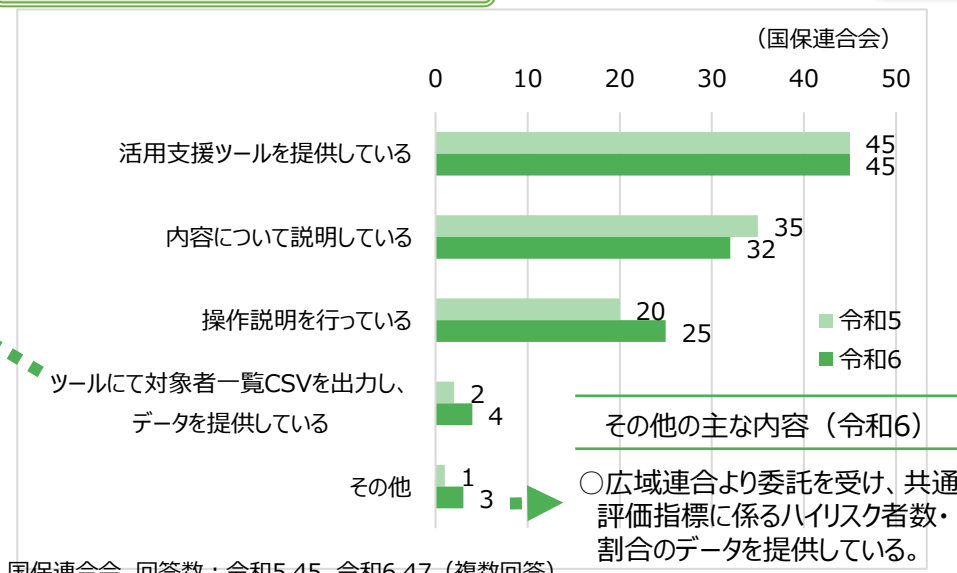
- 広域連合に対し、活用支援ツールに関する支援は、全ての国保連合会で行われていた。**
- 令和5年度においては2連合会への支援が未実施だったが、令和6年度には全ての国保連合会に拡大した。



- 活用支援ツールに関する支援の内容**は「活用支援ツールを提供している」が最も多く、次いで「内容について説明している」であった。
- 「データを提供している」と回答があったデータの詳細は、4回答全て、「国保連合会にて加工し提供している」であった。
- 令和5年度と比較して、操作説明を行っている国保連合会が増加した。

活用支援ツールに関する支援の内容

経年比較





- 構成市町村、広域連合へ活用支援ツールの支援を行う上での課題については、双方とも、「活用支援ツールの仕様・運用面での問題」、「操作・活用支援体制」に関する意見が多かった。

## 構成市町村への活用支援ツールの支援の課題

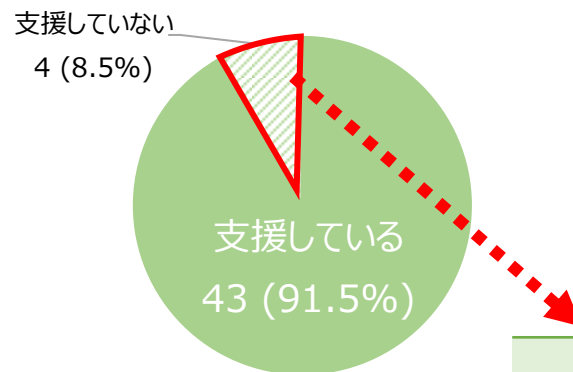
分類	主な意見
仕様・運用面での問題 (9)	○市町村によって、対象者を抽出する際の抽出基準が異なる
	○KDBの介入支援管理機能への連携が煩雑であること
	○通いの場の質問票について、ツールで抽出する際には考慮されていないため、ツール使用後に「S26_027：後期高齢者の質問票」などで確認を行う必要があり、二度手間となっている
操作・活用支援体制 (8)	○設定されている要件では対象者がいない場合もあり、地域の実情に合わせた対応が必要
	○研修に参加していない場合や一度研修で説明を聞いただけでは、理解して使用していただくのは難しい
活用状況・実態把握不足 (5)	○正確な活用状況や市町村ニーズを把握できていない
活用市町村が少ない (3)	○広域連合で対象者を抽出し市町村へ提供しているので、市町村担当者がツールを使用しているところは多くない

## 広域連合への活用支援ツールの支援の課題

分類	主な意見
操作・活用支援体制 (5)	○国保連合会に相談できるように声掛けと研修会内容の連携方法を工夫しているが、内容の理解ができていないため、連携して動く際に齟齬が出やすい
	○KDBとの集計要件の違いをどのように説明するか
仕様・運用面での問題 (3)	○広域連合はCSV抽出するのに時間がかかるため、予めデータを用意する必要がある

構成市町村に対し、実践支援ツールに関する支援をしている国保連合会

調査対象：国保連合会 回答数：47



支援をしていない理由

- 広域連合の判断で構成市町村へツール提供しているため（3）
- KDB外付けシステムで代用可能なため

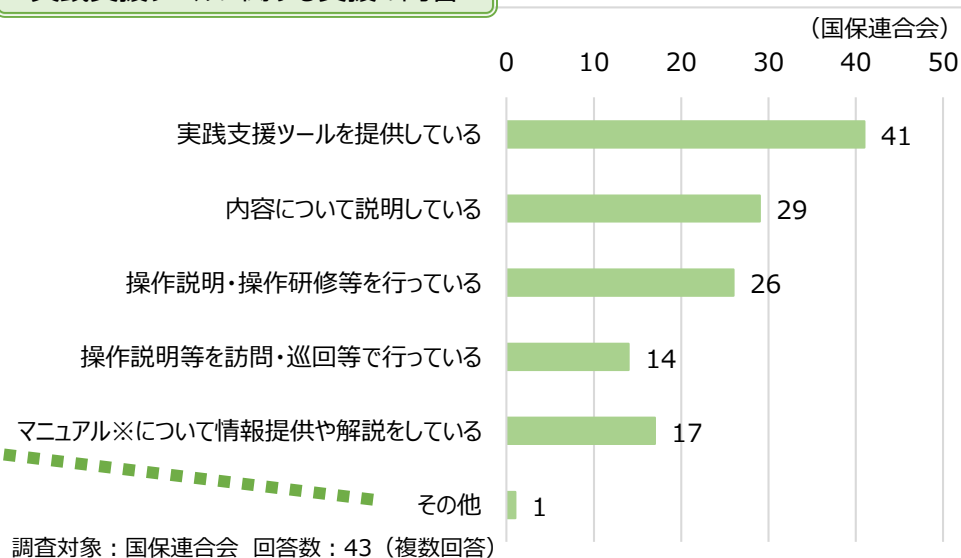
○構成市町村に対し、一体的実施・実践支援ツール（以下「実践支援ツール」という）に関する支援をしている国保連合会は、43連合会（91.5%）であった。

○実践支援ツールに関する支援の内容は「実践支援ツールを提供している」が最も多く、次いで「内容について説明している」であった。

その他の内容

- ツールを本会外付システムに掲載し、構成市町村への活用周知は広域連合が実施

実践支援ツールに関する支援の内容



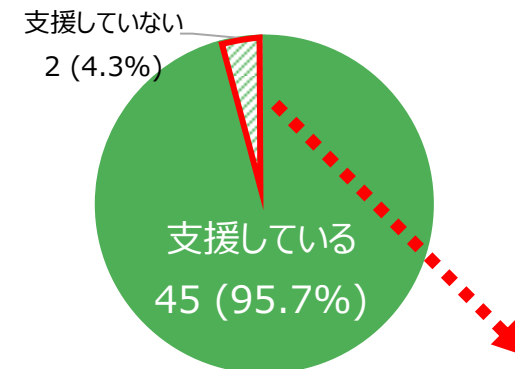
※「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用（厚生労働科学研究）」や「一体的実施・実践支援ツール操作マニュアル（国民健康保険中央会）」等



広域連合に対し、実践支援ツールに関する支援をしている国保連合会

調査対象：国保連合会 回答数：47

○**広域連合に対し、実践支援ツールに関する支援**をしている国保連合会は、45連合会 (95.7%) であった。



支援をしていない理由

- ツールに関する問い合わせがないため
- KDB外付けシステムで代用可能なため

○**実践支援ツールに関する支援の内容**は「実践支援ツールを提供している」が最も多く、次いで「内容について説明している」であった。

実践支援ツールに関する支援の内容



その他の内容

- ツール不具合の問い合わせ対応等
- 広域連合からの照会に随時対応している

- 構成市町村、広域連合へ実践支援ツール支援を行う上での課題については、双方とも、「操作・活用支援体制」に関する意見が多く、国保連合会における理解が不足しているという点が、前段の活用支援ツールの支援課題には見られない意見であった。

## 構成市町村への実践支援ツール支援の課題

分類	主な意見
操作・活用支援体制 (11)	○対象者抽出等について、実践支援ツールと外付けシステムの違いについて、丁寧な説明が必要
	○具体的な活用方法の問い合わせに明確に回答できず、ツールの紹介はできても活用に対する詳細な説明ができていない
	○提供時だけではなく、継続した情報提供や研修の機会が必要
KDBの仕様・運用面での問題 (8)	○「活用支援ツールからCSVを出力し、実践支援ツールに取り込む」といった手順自体が、そもそもハードルが高い
	○活用していただくうえでの補足事項が多い（個票に最新年度と抽出年度が混在している等）
活用状況・実態把握不足 (5)	○市町村が実践支援ツールを全く使用していないのか、あるいは問題なく使用できているのか、連合会の支援を希望する市町村がない
活用構成市町村が少ない (2)	○オンラインの研修で操作説明したが、活用している保険者は少なく、実際に使用してもらうのは難しい

## 広域連合への実践支援ツール支援の課題

分類	主な意見
操作・活用支援体制 (8)	○国保連合会職員のツールに対する習熟不足
	○広域連合がツールを用いて何を行うのか、マニュアルに示されていない
KDBの仕様・運用面での問題 (4)	○国が事業実施の集計をこのツールで集計することを求めているので、活用する必要性を感じていない

○構成市町村におけるKDBシステムを効果的に活用している活用事例について、5連合会で事例提供があった。提出事例なしとする国保連合会が42あった。

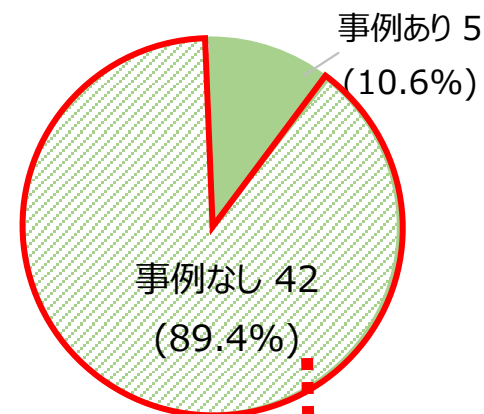
○紹介事例がない理由は、「把握していない」という回答が多かった。

#### その他の内容

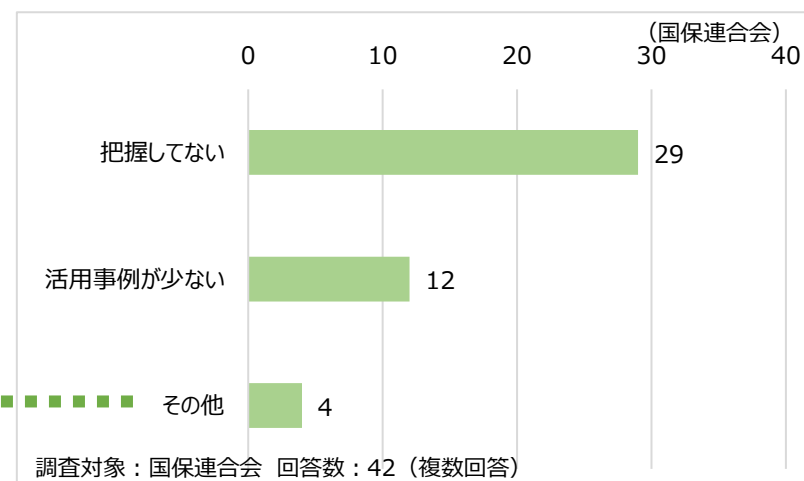
- KDB補完システムを使用しているため
- 独自システム等を含めた活用をしているため
- 他県と健康課題が異なるため提出を控える
- 基本的な活用方法のため

#### KDBシステム活用事例提出状況

調査対象：国保連合会 回答数：47



#### 事例がない理由



## 具体的な活用事例（一部抜粋）

低栄養防止・オールラブルフレイル対策・健康状態不明者対策事業

## 抱えていた課題

- ハイリスクアプローチで取り組むメニューの優先順位の考え方と健康課題を踏まえた事業計画

## 取組の内容

健康課題の再整理のため、庁内連携会議においてKDB帳票等を活用した。優先的に重症化予防が必要な疾患として、筋骨格系疾患（関節疾患・骨粗しょう症）と骨折及び循環器疾患（特に高血圧）が抽出できた。

## 活用したKDB帳票

- 地域の全体像の把握
- 医療費分析（2）大、中、細小分類
- 厚労省様式3-1、3-6、3-7
- 健康スコアリング
- 高齢者質問票
- 活用支援ツール
- 実践支援ツール

## 活用した場面

- 地域の健康課題把握

## 構成市町村が得た効果・解決できた課題

KDB帳票を活用した健康課題の再整理により、支援・評価委員の客観的かつ具体的な助言が得られ、根拠をもって次年度事業計画の方向性が確認された。

健康状態不明者向け訪問事業

## 抱えていた課題

- 対象者の抽出基準・選定方法の決定

## 取組の内容

優先順位を考えるうえで、活用支援ツールの抽出条件により出力されたデータと被保険者管理台帳のデータと突合させ、過去5年間医療、健診なしの対象者抽出を行った。

## 活用したKDB帳票

- 活用支援ツール



- 被保険者管理台帳

## 活用した場面

- 事業対象者把握

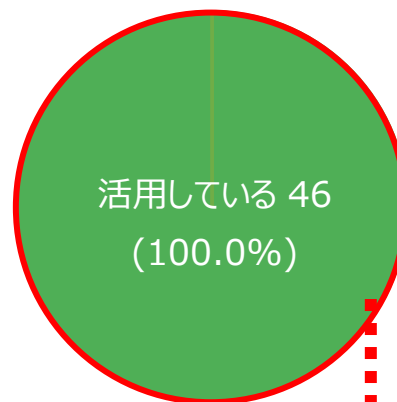
## 構成市町村が得た効果・解決できた課題

人材不足により、活用支援ツールの抽出条件により出力された件数を事業対象者としてできなかったが、取組により事業実施が可能な人数に絞り込みができた。

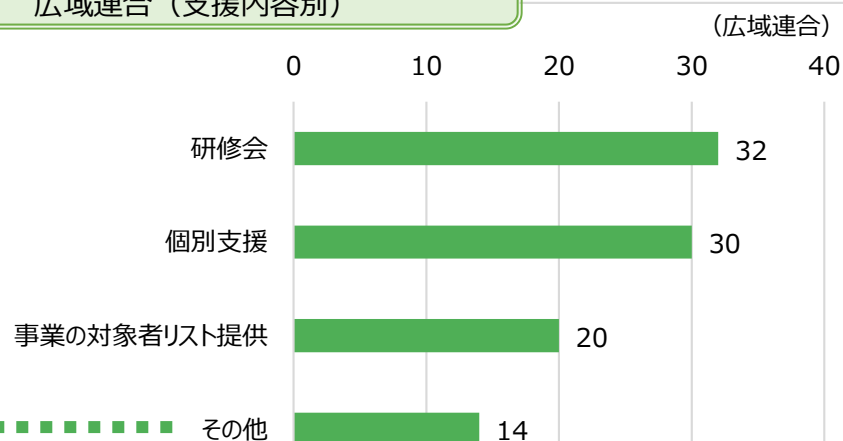
## KDBシステムを活用している広域連合

調査対象：広域連合 回答数：46

○すべての広域連合において、**KDBシステムを活用**していた。



○**構成市町村に対するKDBシステムの活用支援の内容**は、「研修会」が最も多く、次いで「個別支援」であった。

構成市町村にKDBシステムの活用支援をしている  
広域連合（支援内容別）

調査対象：広域連合 回答数：46（複数回答）

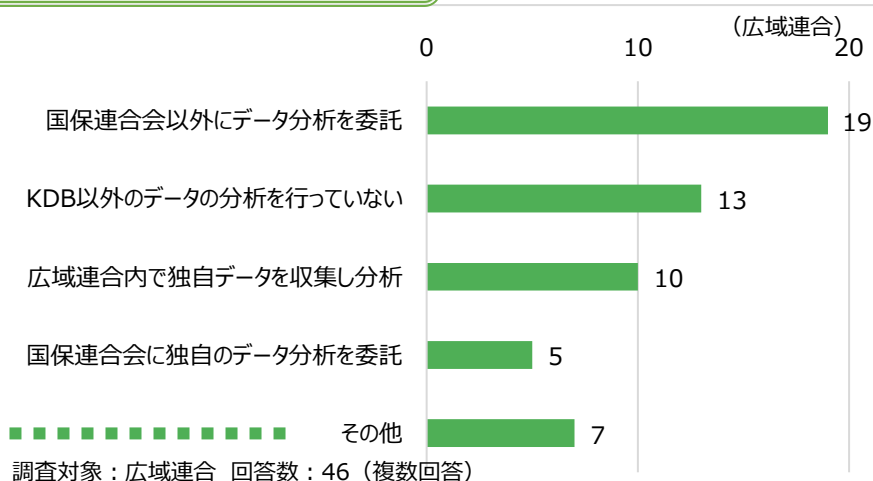
その他の主な内容	件数
○健康課題等分析データを提供	9
○国や県、他市町村との比較ができる資料を提供	1
○国保連合会で実施しているため実施していない	1

○**KDBシステム以外によるデータ分析方法は、「国保連合会以外の機関にデータ分析を委託」が最も多かった。**

#### その他の主な内容

- KDBシステムのデータをツールに取り込み、一体的実施用に各市町村の健康課題を確認できる帳票を作成
- KDBシステムのデータと併せ、厚労省や、国保連合会のデータを参考に分析

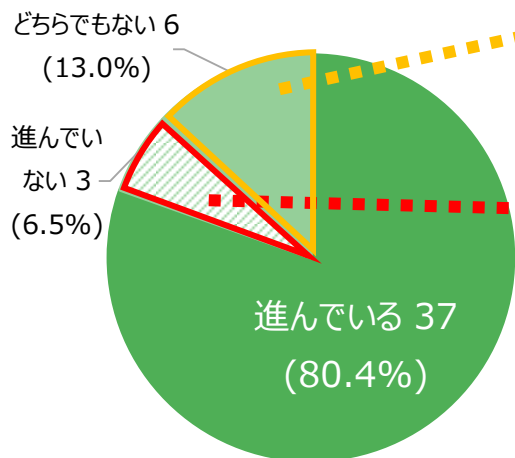
#### KDBシステム以外にデータ分析をしている 広域連合（分析方法別）



- 直近1年間のKDBシステム活用の進捗については、「活用が進んでいる」と回答した広域連合は、37 (80.4%) あった。
- 「どちらでもない」と回答した理由については、「例年と同様の活用をしているため」とした意見が最も多かった。

## 直近1年間のKDBシステム活用の進捗

調査対象：広域連合 回答数：46



## 「どちらでもない」と回答した理由

## 件数

○例年と同様の活用をしているため	4
○活用しきれていない	1
○直近一年間において進んだといえるのか判別できない	1

## 活用が進んでいないと考える点

- 実践支援ツールが未活用
- 事業評価や詳細な課題分析等には、活用できていない
- 活用支援ツール、実践支援ツールに一部の市の介護情報が入っていない

## 必要と考える対策

## 対策

## 件数

○研修会の参加	2
○積極的な活用	1

- 個別保健事業におけるKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望について、最も多かった意見は、「活用支援ツール・実践支援ツールの支援」であり、具体的には、構成市町村向けのツールの研修会の開催や留意点に関する情報提供などがあげられていた。

個別保健事業におけるKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望

分類	主な意見
活用支援ツール・実践支援ツールの支援（5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○構成市町村向けに活用支援ツール・実践支援ツールの研修会を実施してほしい（3）</li> <li>○活用支援ツールを使用する際に留意する点など情報提供してほしい。実践支援ツールについて、具体的な活用方法の説明、問合せの対応について、国保連合会の支援をお願いしたい。</li> </ul>
継続的な支援（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も研修や構成市町村への個別技術支援を続けてほしい</li> <li>○担当者が異動するため、希望制ではなく必須で構成市町村の現場へ使い方を御指南いただきたい</li> </ul>
KDBの改修・アップデート（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経年的に対象者を把握できるようなシステムがほしい</li> <li>○帳票により集計定義が異なる（年齢基準の統一など）、介護保険データとの連携がない、医療・健診等データの経年比較がない等</li> </ul>

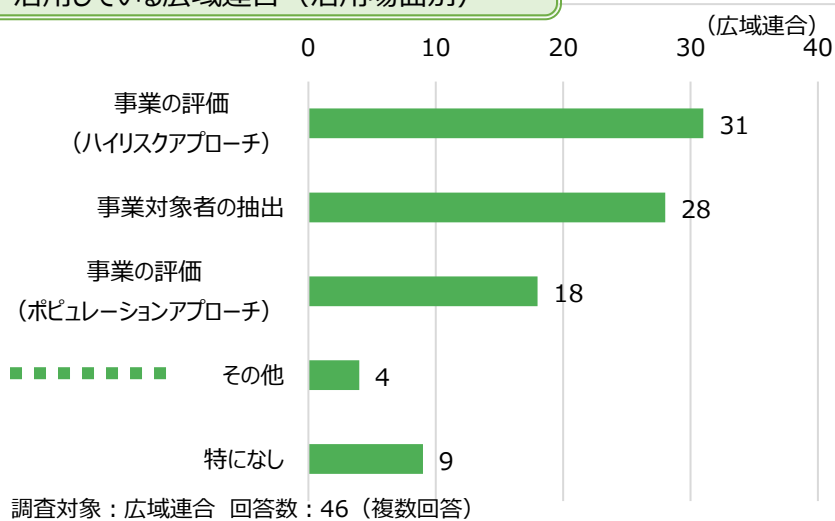


- 構成市町村の個別保健事業の実施・評価においてKDBシステムを活用している場面は、「ハイリスクアプローチでの事業評価」が最も多かった。

その他の主な内容

- 健康課題の抽出
- 医療費分析

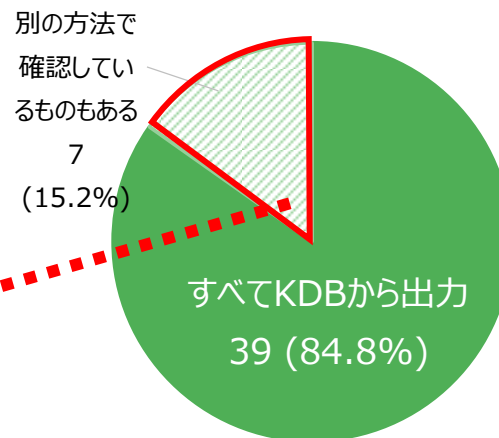
構成市町村の個別保健事業でKDBシステムを活用している広域連合（活用場面別）



- 共通評価指標の把握による評価においてKDBシステムを活用しているかについては、「KDBシステムから参照できる指標はすべてKDBシステムから出力している」と回答した広域連合は、39（84.8%）あった。

共通評価指標の把握による評価におけるKDBシステムの活用状況

調査対象：広域連合 回答数：46



KDBシステム以外の主なデータ・方法

件数

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ○健診受診率は構成市町村から数値を提供し確認    | 3 |
| ○健診受診率は国の共通指標の受診率で算出      | 1 |
| ○KDBを導入していない市町村分のみ委託により抽出 | 1 |

- 第3期データヘルス計画実施・評価におけるKDBシステム活用について課題は、「KDB・ツールの仕様」や「データのタイムラグ」に関する内容が多く、主にKDBシステムの利便性に関する意見が目立った。

## 第3期データヘルス計画の実施・評価におけるKDBシステム活用についての課題

分類	主な意見
KDB・ツールの仕様・運用面の問題 (11)	○通いの場で取得した質問票のデータが活用支援ツールに反映されない
	○全10事業を抜き出さないと実践支援ツールが使用できないことが不便。1事業ずつでも利用できるようにしてほしい
	○服薬事業の対象者抽出後の絞込みはKDBシステムだけでは情報が不足する
データのタイムラグ (5)	○健診結果のKDBシステムへの反映に時間がかかる (4)
	○活用支援ツール反映に時差4カ月あり効果的な事業が行えない
KDBへの理解・スキル不足 (3)	○操作方法、活用方法が詳しくないので不安
	○様々な帳票からの読み取りとなるため、迷うことがある

## 第3期データヘルス計画実施・評価におけるKDBシステム活用についての国保連合会への要望

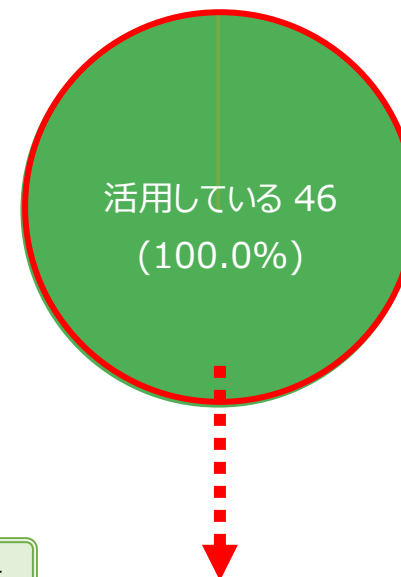
- 第3期データヘルス計画実施・評価におけるKDBシステムの活用についての国保連合会への要望で、最も多かった意見は、「KDB操作方法等の継続的な支援」であった。

分類	主な意見
KDB操作方法等の継続的な支援 (7)	○データの提供、KDBシステムの使い方が分からない時の対応など今までどおりの支援をお願いしたい (5)
	○実践支援ツールの活用方法について、マニュアルをみて操作しているが、より詳しくご教示願いたい
	○活用支援ツール、実践支援ツールの研修を初任者研修のような場で継続してほしい
KDBの改修・アップデート (5)	○通いの場等の高齢者の質問票について、活用支援ツールの抽出に反映する仕様にしてほしい (2)
情報共有 (2)	○国や中央会から届いた情報、資料、ツールなどのうち、国保に関するもので後期に関係が深いものや、後期に直接関係しないが、一体的実施事業を行う上で必要なものは、共有していただきたい

## 活用支援ツールを活用している広域連合

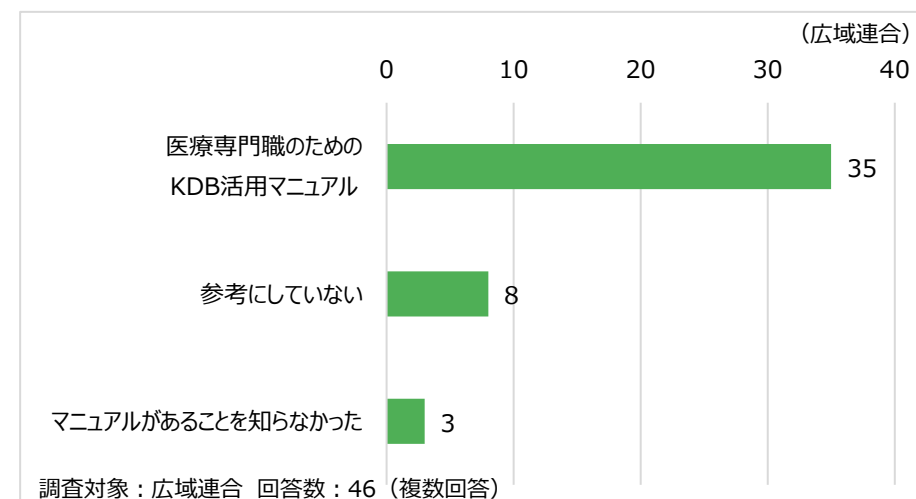
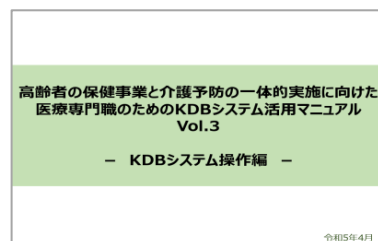
調査対象：広域連合 回答数：46

○すべての広域連合において、**活用支援ツール**  
**を活用していた。**



## 参考にした資料

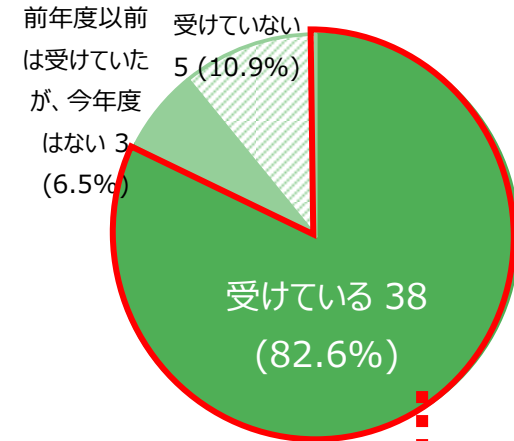
○活用にあたり、国保中央会作成の**マニュアル**  
**を参考にした**かどうかについては、35の広域連  
合で「高齢者の保健事業と介護予防の一体  
的实施に向けた医療専門職のためのKDBシ  
ステム活用マニュアル」を参考にしていた。



活用支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている広域連合

調査対象：広域連合 回答数：46

○活用支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている広域連合は38（82.6%）あった。



○国保連合会による支援を受けたことによる変化については、「活用支援ツールを使って、構成市町村支援につなげることができた」と回答した広域連合が最も多かった。

国保連合会支援による変化



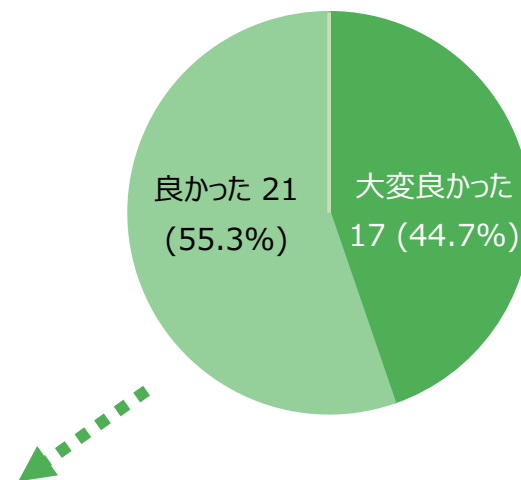
その他の内容

- 事業別・市町村別での経年変化を可視化できるため、県内の状況把握に活用できている。
- 疑問点などを国保連合会と共有し、研修で活用方法を説明。変化は今後リサーチ予定。

活用支援ツールに関する  
国保連合会支援の評価

調査対象：広域連合 回答数：38

○前頁で「支援を受けている」と回答した38広域連合に対し、**支援の評価**を聞いたところ、すべての広域連合から、「大変良かった」、「良かった」と回答があった。



「大変良かった」・「良かった」理由 件数

主な意見

○求めていた支援を受けることができた

7

○一体的実施等、後期高齢者に関するKDBシステム等の研修をしていただいた。  
○KDBを実際に操作しながら個別に支援を受けることができた。  
○適宜、疑問があれば質問させていただき、支援を受けることができた。

○対応が良かった

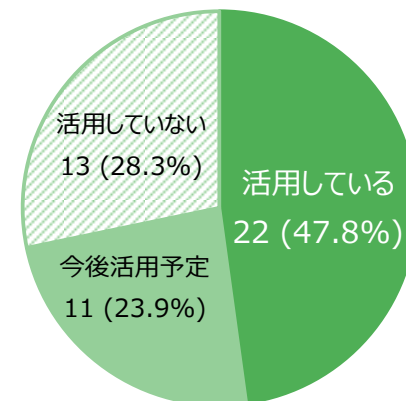
2

○問い合わせに迅速に対応していただいた。  
○国保連合会は唯一の相談窓口としていつも相談でき信頼している。

実践支援ツールを活用している広域連合

調査対象：広域連合 回答数：46

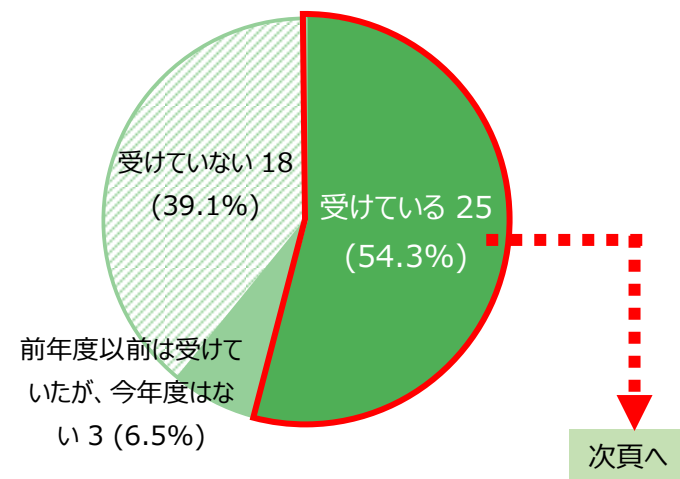
- 実践支援ツールを活用している広域連合は22（47.8%）あった。
- 今後活用予定としている広域連合も2割程あった。



実践支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている広域連合

調査対象：広域連合 回答数：46

- 実践支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている広域連合は25（54.3%）あった。



○前頁で「支援を受けている」と回答した25広域連合に対し、**国保連合会の支援を受けたことによる変化**について聞いたところ、「実践支援ツールを使って、構成市町村支援につなげることができた」と回答した広域連合が最も多かった。

## その他の主な内容

- 市町村の使用状況が不明なため、広域連合としての活用方法がまだ見いだせていない。
- 操作マニュアル等いただいたが、まだ活用していない。

○前頁で「支援を受けている」と回答した25広域連合に対し、**支援の評価**を聞いたところ、「大変良かった」、「良かった」と回答した広域連合は、合わせて23（92%）あった。

🗣️「大変良かった」・「良かった」理由 件数 主な意見

○求めている支援を受けることができた 7

○国保事業と併せて、一体的実施事業の支援を考えていただいた。

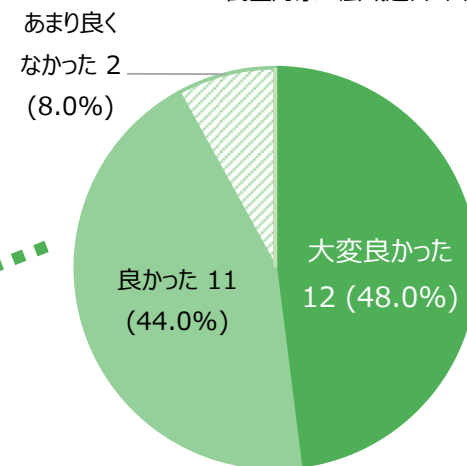
🗣️「あまり良くなかった」理由

○実践に結び付くような内容であれば良かった。

## 国保連合会支援による変化

実践支援ツールに関する  
国保連合会支援の評価

調査対象：広域連合 回答数：25



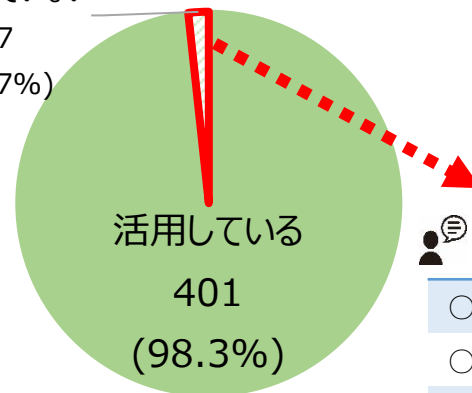
- KDBシステムを活用している構成市町村は、401（98.3%）あった。
- 活用していない理由を内容別に分類したところ、「KDBシステムの機能を十分に理解できていない」という理由が多かった。

- KDBシステム以外によるデータ分析方法は、「構成市町村内で独自データを収集し分析」が多かった。
- 国保連合会や外部に依頼する数は少なかった。

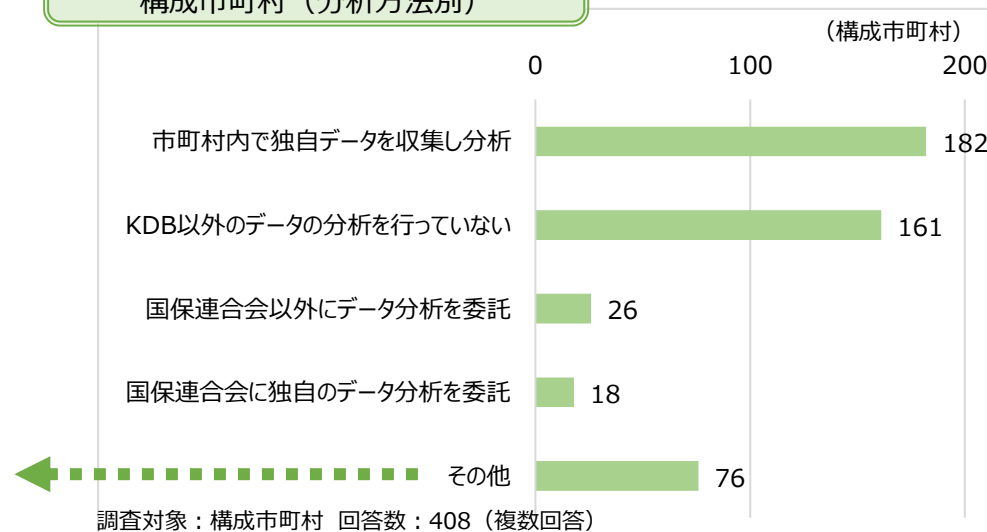
その他の内容（全国的に多かった内容）	件数
○ヘルスサポートラボツール	11
○保険者データヘルス支援システム	11
○マルチマーカー	5
○健康かるて	4
○国立保健医療科学院の分析ツール	4

KDBシステムを活用している構成市町村

活用していない

7  
(1.7%)

調査対象：構成市町村 回答数：408

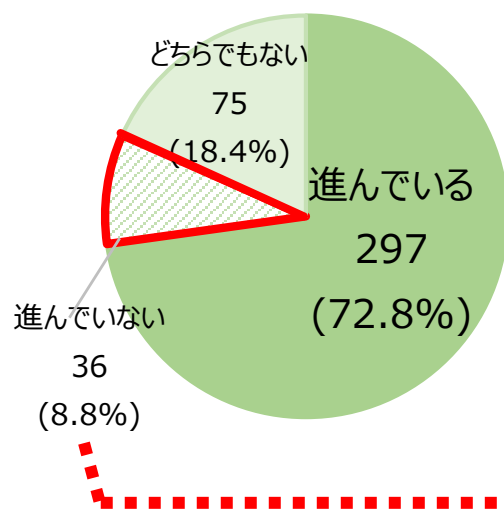
KDBシステム以外にデータ分析をしている  
構成市町村（分析方法別）



- 直近1年間のKDBシステム活用の進捗については、「活用が進んでいる」と回答した構成市町村は、297（72.8%）あった。
- 「活用が進んでいない」と回答した構成市町村に対して、**活用が進んでいないと考える点**について聞いたところ、「KDBの仕様によって使いづらい部分がある」とした意見が最も多かった。その対策として、研修に参加する意向を示す意見が多く見られた。

## 直近1年間のKDBシステム活用の進捗

調査対象：構成市町村 回答数：408



## 活用が進んでいないと考える点

## 件数

○KDBの仕様・使いづらい部分がある	10
○KDBの知識不足・活用方法がわからない	9
○同じ機能しか使っていない・活用部分が決まっている	9
○活用する時間が取れない	5
○KDB端末設置の問題	3
○人材不足	3

必要と考える対策

## 対策

## 件数

○研修会の参加（開催要望あり）	7
○使用する機会を増やす	6
○KDBの改修・アップデート	4
○マニュアルの読込み（作成要望あり）	4
○活用スキルの習得	2
○人材確保	2
○KDB端末の設置	1

○前頁の直近1年間のKDBシステム活用の進捗について、「どちらでもない」と回答した理由について聞いたところ、「例年と同様の活用をしているため」が最も多かった。

## 「どちらでもない」と回答した理由

件数

○例年と同様の活用をしているため	27
○使いこなせていない、最小限の活用しかできていない	19
○別のシステムを活用している	6
○利用者が限られている	4

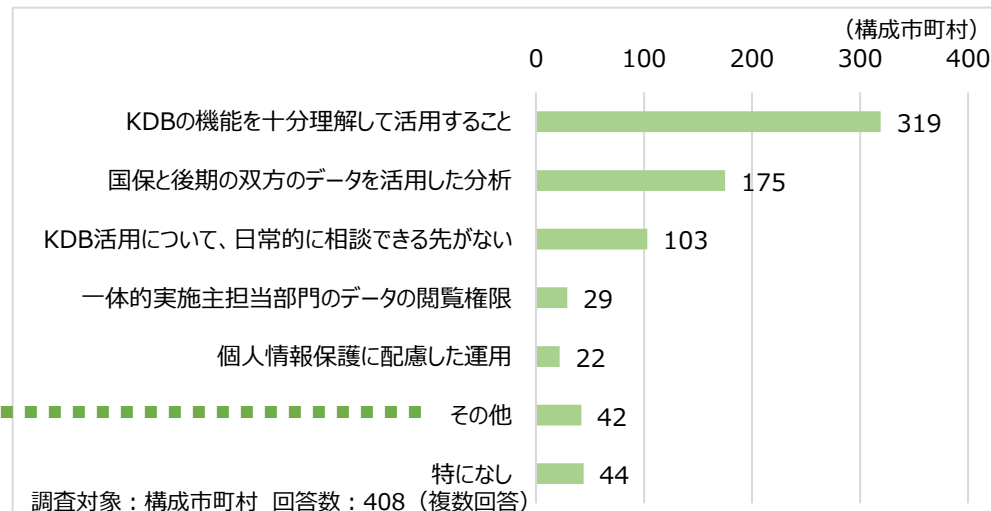
○KDBシステム活用において課題と思うことについて、「KDBシステムの機能を十分理解して活用することが難しい」とした意見が最も多かった。

## その他で多かった内容

件数

○KDBの仕様	17
○データにタイムラグがある	5
○KDB端末設置の問題	4
○人材不足	3

## KDBシステム活用における課題



○個別保健事業のKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望について、最も多かった意見は、「研修会の開催」であった。

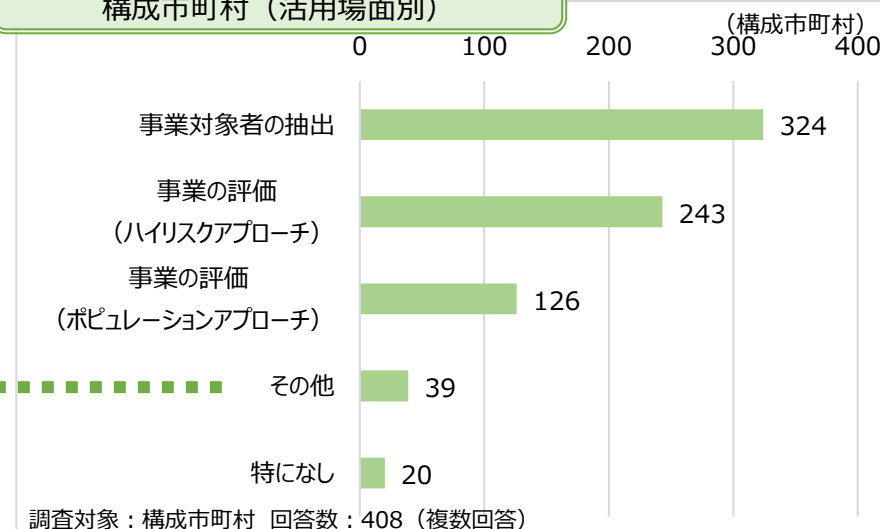
個別保健事業におけるKDBシステムを活用したデータ分析への支援の要望

大分類	中分類	主な意見（要約）
研修会の開催（33）	実機での研修（6）	○各市町村の端末での操作研修
	回数・時間の拡充（5）	○KDB実践セミナーの回数を増やしてほしい ○データ分析研修の時間が短い
	開催時期（4）	○初心者向け研修を年度初めに実施 ○4～5月に操作説明会を開催
	ツールの研修（4）	○実践支援ツールの実機研修
データ抽出・分析支援（26）	分析支援（16）	○分析のテンプレートや見本 ○基本的な分析の一連のやり方 ○ツール等を活用し効率化する方法
	データ抽出支援（6）	○必要とするデータの抽出条件、抽出方法等
	評価・効果測定の支援（5）	○分析評価をする際の有効なデータ ○事業実績・評価を圏域ごとに集計し見える化する方法
KDBの改修・アップデート（17）	機能拡充要望（12）	○群間差による統計分析ができる機能 ○国保の健診結果やレセプトデータとあわせて分析できる機能 ○KDBで歯科健診結果を取り込んでほしい
	画面表示等の改善（5）	○個人画面や対象者リストにカナ氏名・電話番号・郵便番号・個人番号の掲載 ○転出者を抽出されないようにする
相談環境・継続的な支援（17）		○活用支援ツールについてすぐ相談できる窓口 ○不明点についてメール等で問い合わせができる ○操作方法について対面やWeb会議などでの指導
マニュアルの提供（13）		○KDBデータ分析マニュアル ○常時視聴できる機能説明動画
活用事例の共有（10）		○他市町村で活用しているデータの共有 ○国保・後期のデータを切れ目なく分析する好事例

- 個別保健事業でKDBシステムを活用している場面は、「保健事業対象者の抽出」が最も多かった。

その他で多かった内容	件数
○受診状況（レセプト情報）の確認	14
○地域分析・健康課題の分析	10
○外付けシステムや2次加工ツール等の使用時に活用	2
○医療費の集計・分析	2

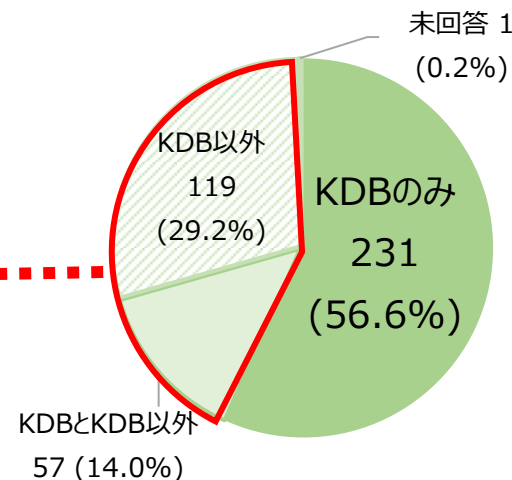
個別保健事業でKDBシステムを活用している  
構成市町村（活用場面別）



- 個別保健事業の評価において、「KDBシステムのみ」を活用している構成市町村は231（56.6%）であった。

個別保健事業の評価における  
KDBシステムの活用状況

調査対象：構成市町村 回答数：408



具体的なデータ・方法

KDBシステム以外のデータ	件数	KDBシステム以外の方法	件数
○アンケート、聞き取り	39	○Excelを活用	34
○健診データ	36	○県提供のツールやシステム	16
○レセプト・医療データ	21	○市町村独自のツールやシステム	9
		○外部委託	6

○個別保健事業での評価におけるKDBシステムの活用にあたって、国保連合会の支援を受けた構成市町村は189（46.3％）で、全体の半数以下であった。

○支援についての評価は、「大変良かった」、「良かった」と回答した構成市町村は、合わせて180（95.2％）あった。

人「大変良かった」・「良かった」理由 件数

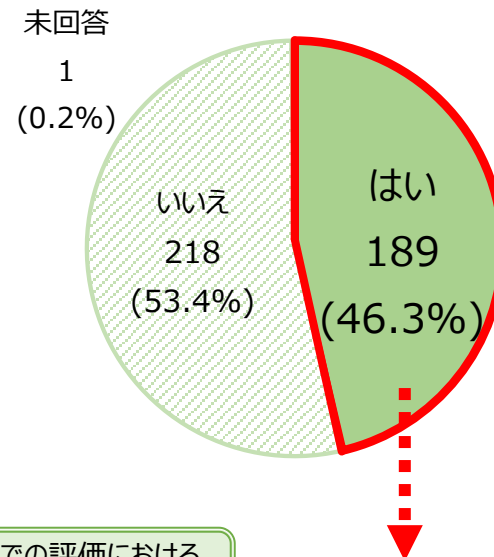
○求めている支援を受けることができた	23
○対応が良かった （わかりやすい説明、丁寧、迅速）	16
○理解できた・参考になった	9

人「あまり良くなかった」・「良くなかった」理由 件数

○理解に至らなかった	2
○対応が良くなかった	1
○資料がなかった	1

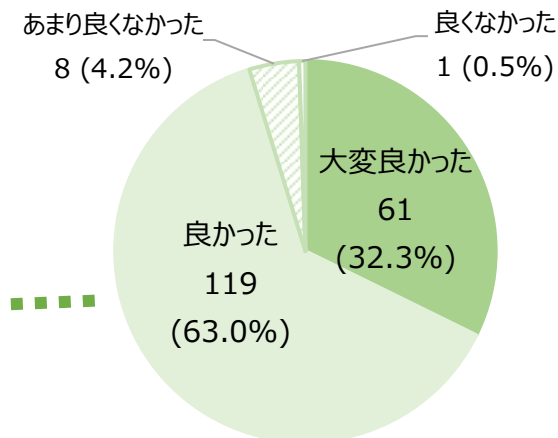
個別保健事業での評価における  
国保連合会の支援を受けた構成市町村

調査対象：構成市町村 回答数：408



個別保健事業での評価における  
国保連合会支援の評価

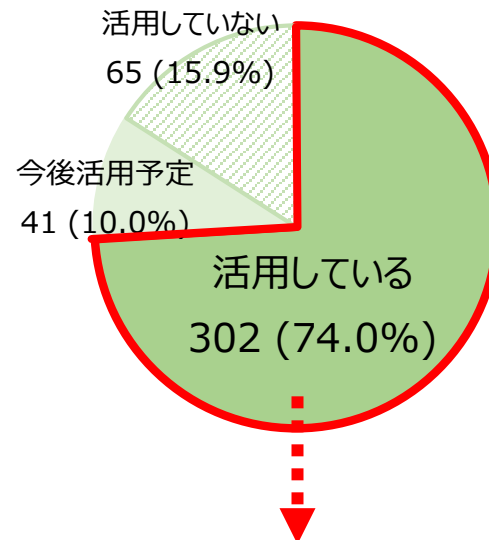
調査対象：構成市町村 回答数：189



## 活用支援ツールを活用している構成市町村

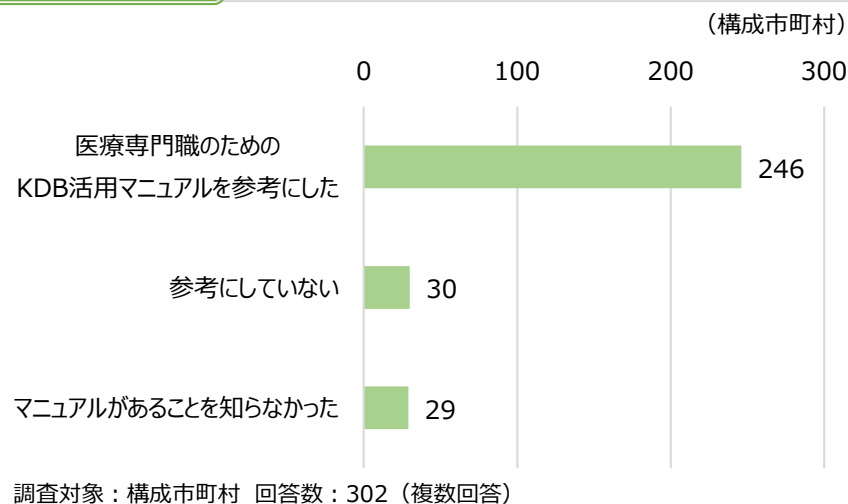
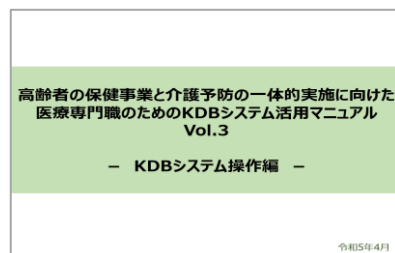
調査対象：構成市町村 回答数：408

- 活用支援ツールを活用している構成市町村は302（74.0%）あった。
- 今後活用予定としている構成市町村も1割程あった。



## 参考にした資料

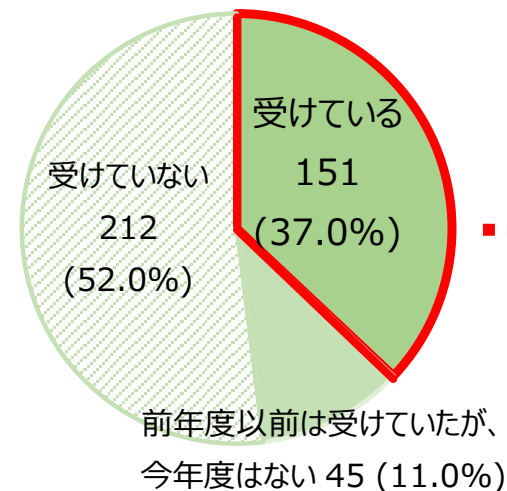
- 活用にあたり、国保中央会作成のマニュアルを参考にしたかどうかについては、246の構成市町村で「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた医療専門職のためのKDBシステム活用マニュアル」を参考にしていました。



活用支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている構成市町村

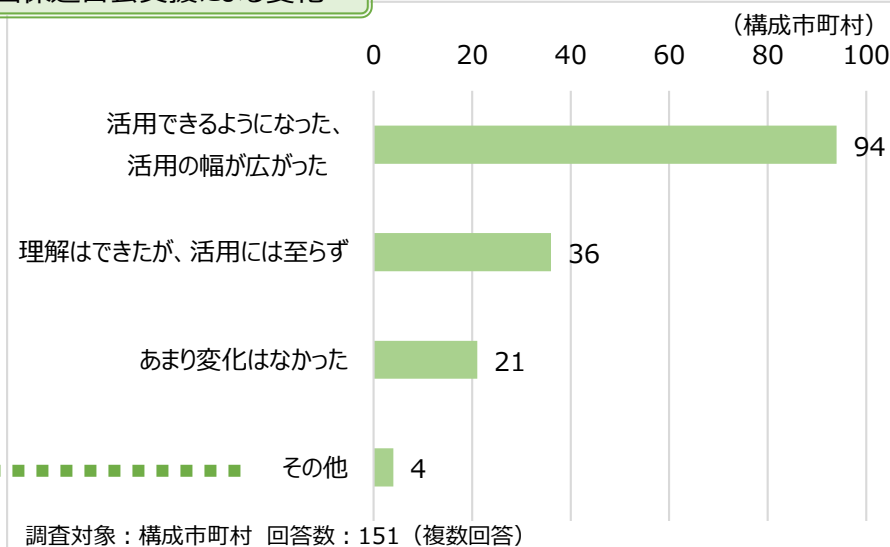
調査対象：構成市町村 回答数：408

- 活用支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている構成市町村は151 (37.0%) あった。



- 国保連合会による支援を受けたことによる変化については、「活用ができるようになった、活用の幅が広がった」と回答した構成市町村が最も多かった。

国保連合会支援による変化



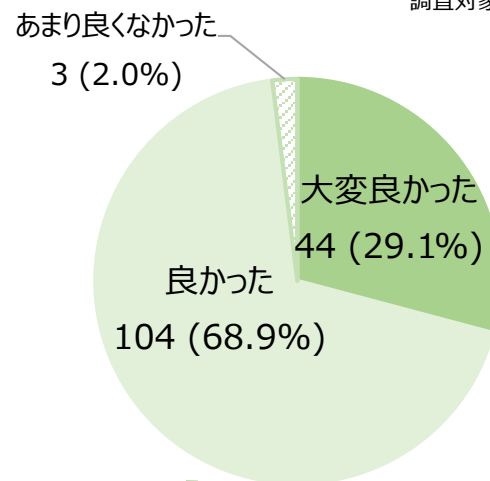
その他の内容

- 操作等で不明な点を確認している (2)
- 研修会に参加しただけになっている
- 対象者の把握のみに活用している

○前頁で「支援を受けている」と回答した151構成市町村に対し、**支援の評価**を聞いたところ、「大変良かった」、「良かった」と回答した構成市町村は、合わせて148（98.0%）あった。

活用支援ツールに関する  
国保連合会支援の評価

調査対象：構成市町村 回答数：151



「大変良かった」・「良かった」理由

件数

○求めている支援を受けることができた

12

○対応が良かった  
(わかりやすい説明、丁寧、迅速)

10

○理解できた・参考になった

4

「あまり良くなかった」理由

件数

○あまり参考にならなかった

1

○より詳細な説明がなかった

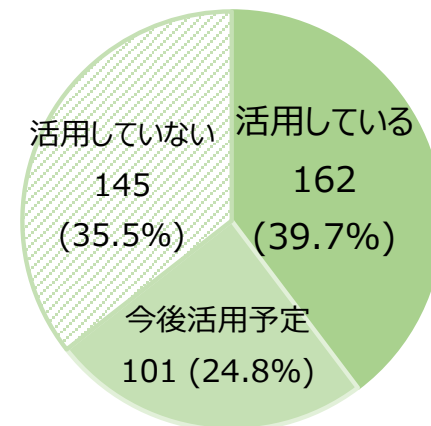
1



## 実践支援ツールを活用している構成市町村

調査対象：構成市町村 回答数：408

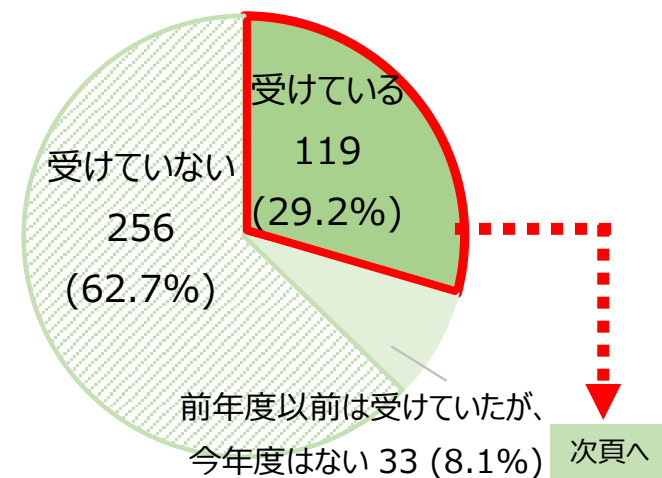
- 実践支援ツールを活用している構成市町村は162（39.7%）あった。
- 今後活用予定としている構成市町村も2割程あった。



## 実践支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている構成市町村

調査対象：構成市町村 回答数：408

- 実践支援ツールに関して国保連合会から支援を受けている構成市町村は119（29.2%）あった。

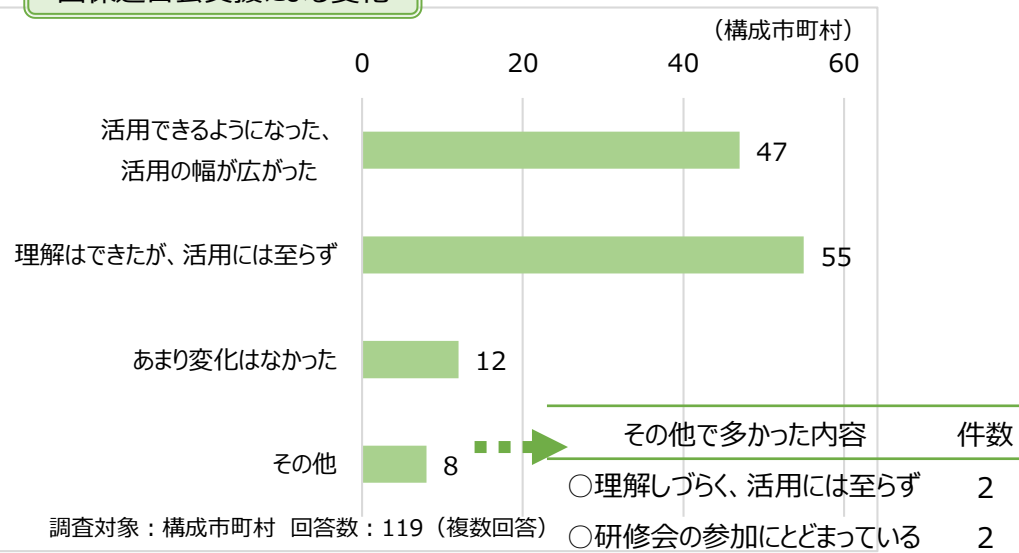


○前頁で「支援を受けている」と回答した119構成市町村に対し、**支援を受けたことによる変化**について聞いたところ、「理解はできたが、活用には至っていない」と回答した構成市町村が最も多かった。

○活用支援ツールと比較（P.53）して、活用には至っていない構成市町村が多かった。

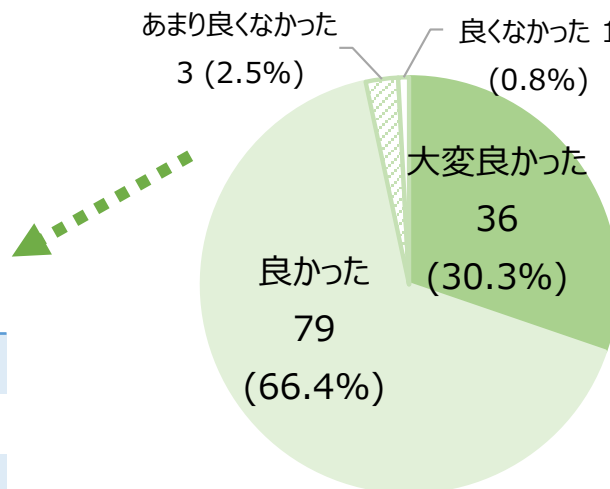
○前頁で「支援を受けている」と回答した119構成市町村に対し、**支援の評価**を聞いたところ、「大変良かった」、「良かった」と回答した構成市町村は、合わせて115（96.7%）あった。

#### 国保連合会支援による変化



#### 実践支援ツールに関する 国保連合会支援の評価

調査対象：構成市町村 回答数：119



「大変良かった」・「良かった」理由 件数

○求めていた支援を受けることができた	9
○対応が良かった (わかりやすい説明、丁寧、迅速)	8
○理解できた・参考になった	3

「あまり良くなかった」・「良くなかった」理由 件数

○詳細な説明がなかった	1
○あまり参考にならなかった	1
○解決につながらなかった	1

## Ⅲ 令和6年度の調査結果まとめ

## 調査結果のまとめ（国保）

### 1. KDBシステムの活用状況

- 896市町村国保（97.7%）でKDBシステムが活用され、6割以上が「直近1年間で活用が進んでいる」と回答するなど、活用は着実に浸透している。（P.14、15）
- KDBシステムの活用の主な場面は「保健事業対象者の抽出」であり、PDCAサイクルの「Plan（計画）」や「Do（実施）」の段階で中心的に利用されている。（P.18）

### 2. KDBシステムの支援状況

- 全ての国保連合会が「個別支援」を中心に市町村国保に対して支援をしており、特に、個別事業の評価における支援では、支援を受けた市町村国保の97.8%が「大変良かった・良かった」と回答するなど、非常に高い満足度を得ている。（P.6、19）

### 3. KDBシステム活用における課題

- 市町村国保、支援する国保連合会の双方が「市町村国保職員のKDB操作・活用スキル不足」を最大の課題として認識しており、課題認識が一致している。（P.7、15）
- 上記課題を背景に、市町村国保からは研修会の開催やデータ抽出や分析に関する支援を望む声が多く寄せられている。（P.17）
- 国保連合会は、第3期データヘルス計画のKDBシステム活用支援における課題として、KDBシステムの仕様上の制約等や担当者変更によるノウハウの蓄積の難しさをあげており、これらが継続的なデータ活用を困難にしている。（P.11）

### 4. 今後の支援の方向性

- 国保連合会からは、第3期データヘルス計画の中間評価を見据え、「標準的評価指標に資するデータの提供」に力を入れていくという意見が最も多くあがっていた。（P.11）
- 国保中央会に対しては、KDBシステムの改修や操作研修の充実に加え、他保険者の活用事例の共有やマニュアル作成などが求められている。（P.10）

## 調査結果のまとめ（後期）

### 1. KDBシステムの活用状況

- 全ての広域連合、401構成市町村（98.3%）でKDBシステムが活用され、37広域連合（80.4%）、297構成市町村（72.8%）で「直近1年間で活用が進んでいる」と回答するなど、活用は広く浸透している。（P.36、38、47、48）

### 2. KDBシステムの支援状況

- 国保連合会は、「個別支援」を中心に構成市町村・広域連合を支援しており、個別事業の評価における支援を受けた構成市町村は半数以下（46.3%）であったものの、構成市町村の95.2%が「大変良かった・良かった」と回答するなど、高い満足度を得ている。（P.21、52）

### 3. 活用支援ツール・実践支援ツールの活用・支援状況

- 活用支援ツールを活用（今後活用予定を含む）している構成市町村が84.0%に対し、実践支援ツールを活用している構成市町村は64.5%であり、活用状況に差がある。（P.53、56）
- 構成市町村に対して46連合会（97.9%）が活用支援ツールに関する支援をしており、実践支援ツールに関する支援をしているのは43連合会（91.5%）であった。（P.28、31）
- 構成市町村において、国保連合会の支援を受けたことによる変化を見ると、活用支援ツールは「活用できるようになった」が最も多かったのに対し、実践支援ツールでは「理解はできたが、活用には至っていない」が最も多く、実践支援ツールは実際の活用へのハードルが高いことがうかがえる。（P.54、57）
- 国保連合会の両ツールに対する支援の評価は、構成市町村・広域連合ともに、9割以上が「大変良かった・良かった」と回答しており、高く評価されていた。（P.44、46、55、57）

### 4. KDBシステム活用における課題

- 構成市町村、支援する国保連合会の双方が「構成市町村職員のKDB操作・活用スキル不足」を最大の課題として認識しており、課題認識が一致している。（P.23、49）
- 上記課題を背景に、構成市町村からは研修会の開催（実機での操作研修やツールの研修）やデータ抽出・分析に関する支援を望む声が多く寄せられている。（P.50）
- 国保連合会からの第3期データヘルス計画のKDBシステム活用支援における課題においても、「構成市町村の活用スキル」があげられており、計画を効果的に推進するためには、職員の人材育成が重要となっている。（P.27）

## 調査結果のまとめ（後期）

### 5. 今後の支援の方向性

- 国保連合会からは、今後、「年度毎の保健事業の実施状況・成果の推移がわかるデータの提供」に力を入れていくという意見が多くあがっており、経年での事業評価に対する支援を強化していく方針がうかがえる。（P.27）
- 広域連合・構成市町村からは、職員のスキル不足という課題を背景に、実機を用いた研修会や担当者変更に対応した継続的な個別支援への要望が多くあがっており、こうした伴走型の人材育成支援の強化が不可欠となっている。（P.38、39、41、50）
- 国保中央会に対しては、活用支援ツールや実践支援ツールの具体的な活用例の提示や機能改善、他構成市町村の活用事例の共有などの要望が多く寄せられていた。（P.26）

